
摂津市の人口移動に関するアンケート調査

【報告書】

平成 21 年（2009 年）6 月

摂 津 市

■調査結果の概要

<転出者の特性>

- ・転出者の世帯主は、40歳代以下の若い層が4分の3となっており、会社員・公務員が多い。
- ・世帯人数は3人以下で8割を占めており、「単身者」もしくは、「夫婦のみ」、「夫婦と就学前の子ども1人」が大半と考えられる。
- ・摂津市での居住年数は、「5年未満」が5割弱である。
- ・転出により通勤・通学時間はやや長くなっている。アンケートの対象を近畿2府4県への転出世帯に限定しているため、通勤・通学先に大きな変化はみられない。
- ・転出の要因は「住宅の都合」、「結婚のため」が多い。転出に伴って、住宅の所有形態が借家から持家変わった回答者が多い。

これらのことから、「夫婦2人」もしくは「夫婦と就学前の子ども1人」の世帯が、持家（一戸建て、マンション等の共同住宅）を得るために、摂津市在住時よりもやや通勤時間が長くなる地域に転出していくというケースが、典型的な転出世帯のイメージとしてとらえられる。そのほかには、結婚にともなう転出が多い。

<転入者の特性>

- ・転入者の世帯主は、40歳代以下の若い層が4分の3となっており、会社員・公務員が多い。
- ・世帯人数は3人以下で8割強を占めており、「単身者」もしくは、「夫婦のみ」、「夫婦と就学前の子ども1人」が大半と考えられる。
- ・摂津市での居住経験があるのは2割にとどまり、約8割が摂津市に住むのが初めてである。
- ・転入による通勤・通学時間の変化はあまりないが、通勤・通学先は大阪府内や摂津市内が増加している。転入前は遠方（近畿以外）で就業していた回答者も2割弱みられる。
- ・転入の要因は「仕事の都合」や「結婚のため」、「住宅の都合」が多い。転入に伴って、住宅の所有形態が持家から借家変わった回答者が多い。
- ・転入後約1年経過したばかりの時点であるが、既に「将来は市外に引っ越したい」とする世帯が約3割であり、摂津市内で継続して住みたいとする世帯は2割を下回っている。

これらのことから、「夫婦2人」もしくは「夫婦と就学前の子ども1人」の世帯が、仕事の都合や結婚のために、借家（賃貸マンション）に入居するというケースが、典型的な転入世帯のイメージとしてとらえられる。

以上より、摂津市の転出入については、「結婚」や「仕事の都合」で、生活利便性や通勤利便性の高い摂津市の賃貸マンションに転入してくる世帯が多いが、持ち家（一戸建て、共同住宅）を取得するために転出していくという傾向がみられる。

<居住地として摂津市と競合している地域>

- ・転出世帯のうち4分の3は、自らの意思で居住地を選択できる状況にあったが、摂津市を転出先の候補としたのは2割未満にとどまり、約6割は摂津市を候補としていない。転出先としては、吹田市、茨木市、高槻市、大阪市北部などが候補として検討されているが、守口市、門真市、寝屋川市を候補とした回答者は少ない。
- ・転入世帯についても、4分の3は自らの意思で居住地を選択できる状況にあり、うち2割は摂津市内で住まいを探し、うち5割は、他市との比較のうえで、摂津市を新たな居住地として選んでいる。転入先の候補については、転出世帯と同様であり、吹田市、茨木市、高槻市、大阪市北部などが候補として検討されているが、守口市、門真市、寝屋川市を候補とした回答者は少ない。

これらのことから、摂津市内の転入世帯の半数は、「摂津市に住む余地しかなかった」もしくは「最初から摂津市に住もうと考えていたので、他市は探さなかった」とする世帯であり、他市との比較を経て摂津市を選んだ転入世帯は転入世帯全体の半数にとどまっていることがわかる。摂津市が競合しているのは、吹田市、茨木市、高槻市、大阪市北部などであり、守口市、門真市、寝屋川市を候補とした回答者は少ない。

<転出者が他市を選んだ理由>

- ・転出者が、転出先の決定にあたって、1番目に重視した点としては、「住宅価格・家賃の適当さ」、「電車、バスなどの交通の便利さ」、「広さや間取りのよさ」、「住宅のまわりの静けさや落ち着き」、「通勤・通学時間の短さ」が多くあげられているが、これは、転入者が1番目に重視した点とほぼ同様である。

そこで、転居先の決定にあたって重視した要因について、「重視」とする回答の割合を転出者と転入者とで比較すると、次ページの表に示すとおり、13の項目において、10%以上の差がみられた。これらの項目をより重視する世帯は、摂津市と競合している吹田市、茨木市、高槻市、大阪市北部などの地域との比較検討の結果、新たな居住地として、他市を選んでいるものと考えられる。

転居先の決定にあたって重視する割合の差（転出者－転入者）

		転出者	転入者	差(転出－転入)
A)住宅の価格・家賃の 適当さ、広 さ、設備	A1 住宅価格・家賃の適当さ	77.5	76.6	0.8
	A2 広さや間取りのよさ	70.9	63.6	7.3
	A3 設備やサービスのよさ	38.5	27.9	10.6
	A4 新しさをきれいさ	43.6	40.9	2.7
	A5 日当たり・風通しのよさ	53.8	43.2	10.6
	A6 防犯性や安全性の高さ	46.2	30.5	15.7
	A7 バリアフリー対策	13.8	3.6	10.2
B)住宅のま わりの環境	B1 住宅のまわりの静けさや落ち着き	50.9	31.5	19.4
	B2 まちなみの景観や美しさ	31.6	8.8	22.9
	B3 治安のよさ、安全さ	50.2	30.8	19.3
	B4 まちの清潔さ	37.1	16.2	20.9
	B5 まちなかの緑の多さ	29.1	9.4	19.7
C)日常生活 のしやすさ	C1 電車、バスなどの交通の便利さ	64.7	48.1	16.7
	C2 普段の買い物などの便利さ	53.8	44.2	9.7
	C3 大阪市都心部へ行くときの便利さ	39.6	27.9	11.7
	C4 病院など医療機関の便利さ	29.8	16.9	12.9
	C5 近所づきあいのよさ	5.8	3.6	2.2
D)通勤・通 学の便利さ	D1 通勤・通学時間の短さ	42.2	51.6	-9.4
	D2 電車、バスなどの公共交通の便利さ	49.5	36.7	12.8
	D3 道路など自動車交通の便利さ	23.6	22.1	1.6
E)親や子ど も等の家と の近さ	E1 親への近さ	20.0	23.4	-3.4
	E2 子どもへの近さ	8.0	6.2	1.8
	E3 親戚への近さ	2.2	3.9	-1.7
F)子どもを 生み育てる 環境	F1 保育所への入りやすさ	9.8	8.8	1.1
	F2 保育時間の長さなど保育サービスの充	9.1	6.5	2.6
	F3 子育ての相談窓口の充実	8.0	5.8	2.2
	F4 乳幼児医療費助成など経済的な支援 の充実	16.0	10.7	5.3
	F5 幼児教育の充実	13.1	6.8	6.3
	F6 公立小・中学校の学習指導の充実	15.6	6.2	9.5
	F7 希望する私立小・中学校への通わせ やすさ	4.7	6.2	-1.4
	F8 高等学校への通わせやすさ	5.8	4.2	1.6
	F9 学習塾への通わせやすさ	3.3	2.3	1.0
G)高齢期の 暮らしやす さ	G1 バリアフリー化など高齢者にやさしい まちづくりが進んでいる	9.5	4.9	4.6
	G2 高齢者に対する保健・福祉施設や サービスの充実	11.3	5.5	5.8
	G3 高齢者介護のための施設やサービ スの充実	10.9	5.2	5.7
	G4 高齢者の社会参加、生きがいや健康 づくりの機会の充実	6.5	5.5	1.0
	G5 高齢者の就労機会や就労支援の充実	6.5	4.5	2.0

(注) 四捨五入のため、上記の「転出者」のデータから、「転入者」のデータを引いても、「差(転出－転入)」と一致しない場合がある。

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 調査項目.....	2
II. 転出者調査の調査結果	3
1. 属性.....	3
(1) 性別.....	3
(2) 年代.....	3
(3) 職業.....	4
(4) 世帯人数.....	4
(5) 同居している子ども.....	5
(6) 家族構成.....	5
(7) 転出前後の住所.....	6
(8) 摂津市での居住年数.....	7
(9) 通勤・通学先.....	7
(10) 通勤・通学の所要時間.....	8
(11) 日常的によく利用した鉄道駅.....	8
2. お住まいの住宅について.....	9
(1) 住宅の所有形態.....	9
3. 転出の理由について.....	10
(1) 転出の要因.....	10
(2) 転出にあたっての住まい探しの状況.....	10
(3) 転出先として検討した地域.....	12
(4) 転出先の決定にあたって重視した要因.....	13
(5) 転出先の決定にあたって決め手となった要因.....	25
4. 摂津市に住んでみての感想.....	26
(1) 摂津市の住みよさ.....	26
(2) 摂津市の住みよい点.....	27
(3) 摂津市の住みにくい点.....	28
(4) 摂津市への再居住の意向.....	29

III. 転入者調査の調査結果	30
1. 属性.....	30
(1) 性別	30
(2) 年代.....	30
(3) 職業	31
(4) 世帯人数.....	31
(5) 同居している子ども	32
(6) 家族構成.....	32
(7) 転入前後の住所.....	33
(8) 摂津市での居住経験	33
(9) 通勤・通学先	34
(10) 通勤・通学の所要時間.....	35
(11) 日常的によく利用する鉄道駅.....	35
2. お住まいの住宅について.....	36
(1) 住宅の所有形態.....	36
3. 転入の理由について	37
(1) 転入の要因	37
(2) 転入にあたっての住まい探しの状況	37
(3) 転入先として検討した地域	39
(4) 転入先の決定にあたって重視した要因	40
(5) 転入先の決定にあたって決め手となった要因	52
4. 摂津市に住んでみての感想	53
(1) 摂津市の住みよさ	53
(2) 摂津市の住みよい点	54
(3) 摂津市の住みにくい点.....	55
(4) 摂津市での継続居住の意向	56
IV. 今後の摂津市のまちづくりについての意見	57

参考資料

送付文、調査票（転出者調査）

送付文、調査票（転入者調査）

【分析について】

回答数（N数）が小さいと、1人の回答結果の影響が全体に及ぼす影響が大きくなるため、本報告書では、N数が30未満の場合はコメントをしていない。

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、摂津市の転入者・転出者の家族構成、転居理由、通勤・通学時間の変化、転居前後と比較した住みやすさ等の印象を把握することによって、摂津市のまちづくりや次期総合計画の策定に役立てることを目的とする。

2. 調査方法

本調査は、下記の要領で実施した。

	転出者調査	転入者調査
調査対象者	住民基本台帳及び外国人登録より以下の条件で抽出 <ul style="list-style-type: none"> ・基準日：平成20年9月11日 ・本市からの転出者（世帯主）を平成20年7月31日から遡って1,700人全数抽出 ・満18歳以上79歳以下の世帯主 ・本市に半年以上居住 ・転出地は近畿二府四県（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県）に限定 	住民基本台帳及び外国人登録より以下の条件で抽出 <ul style="list-style-type: none"> ・基準日：平成20年9月11日 ・本市への転入者（世帯主）を平成20年3月1日から遡って1,700人全数抽出 ・満18歳以上79歳以下の世帯主 ・本市に半年以上居住 ・転入地は摂津市全域とし、転入前の地の条件設定はしない
調査方法	郵送配布・郵送回収によるアンケート方式（調査票等を返信用封筒とともに郵送し、記入した調査票を返送してもらう方法）	
調査期間	発送：平成20年9月22日（月） 投函締切：平成20年10月14日（火）	
回収状況	有効回答回収率 25.5%	有効回答回収率 25.9%

転入者調査・転出者調査の回収状況

	配布数 A	未着数 B	到達分 C=A-B	回収数 D	回収率(%) D/C
転出者調査	1,700	274	1,426	364	25.5
転入者調査	1,700	76	1,624	421	25.9

3. 調査項目

本調査では、下記の項目の調査を行った。転出者調査と転入者調査とでは、調査項目は概ね共通しているが、一部で異なっている。

		転出者調査	転入者調査
属性	性別	○	○
	年齢	○	○
	職業	○	○
	世帯人数	○	○
	同居している子ども	○	○
	転居前後の家族構成	○	○
	転居前後の住所	○	○
	摂津市での居住年数	○	
	摂津市での居住経験		○
就業 ・就学	転居前後の通勤・通学先	○	○
	転居前後の通勤・通学の所要時間	○	○
	最も利用する鉄道駅	○	○
住宅	転居前後の住宅の所有形態	○	○
	転居要因	○	○
	住まい探しの状況	○	○
	転居先として検討した地域	○	○
	転居先の決定にあたって重視した点	○	○
摂津市 の感想	住んでみての感想	○	○
	住みよい点	○	○
	住みにくい点	○	○
	再居住の意向	○	
	今後の居留意向		○
	自由意見	○	○

(注) ○印のある項目が、各調査で質問した項目。

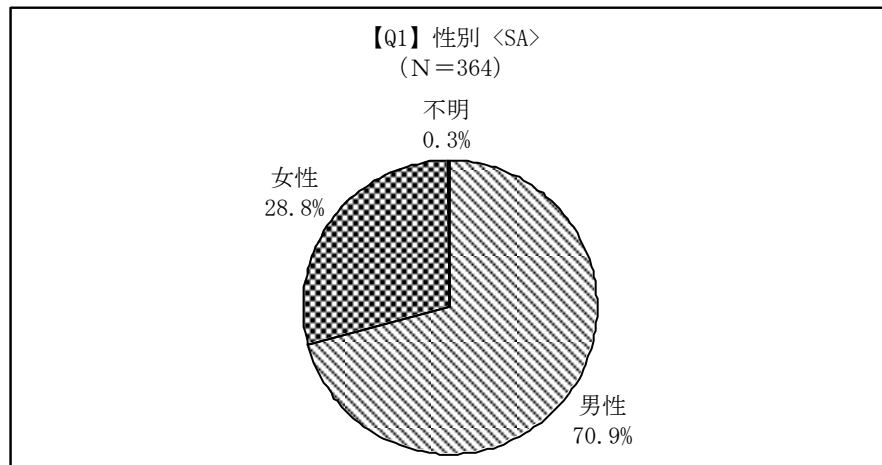
II. 転出者調査の調査結果

1. 属性

(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が70.9%、「女性」が28.8%であった。

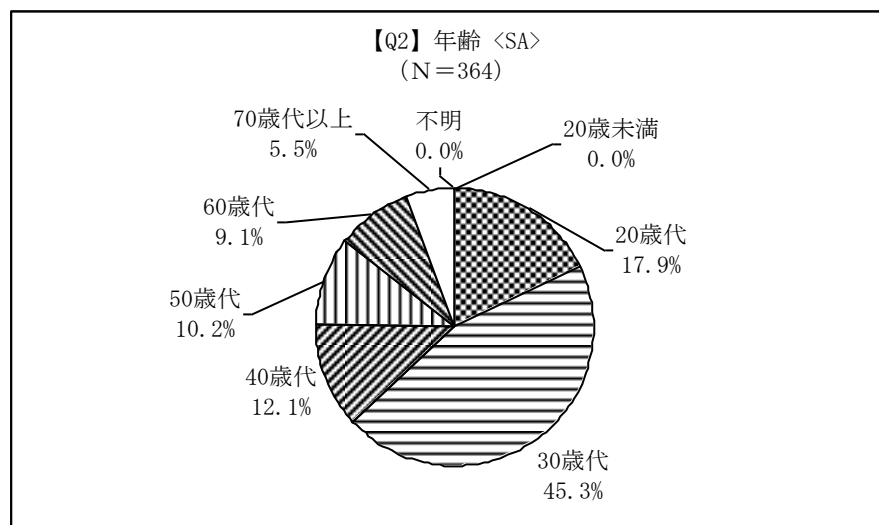
図表 1 性別



(2) 年代

回答者の年代は、40歳代以下で全体の4分の3を占めている。「30歳代」が45.3%と最も多く、「20歳代」が17.9%と続いている。

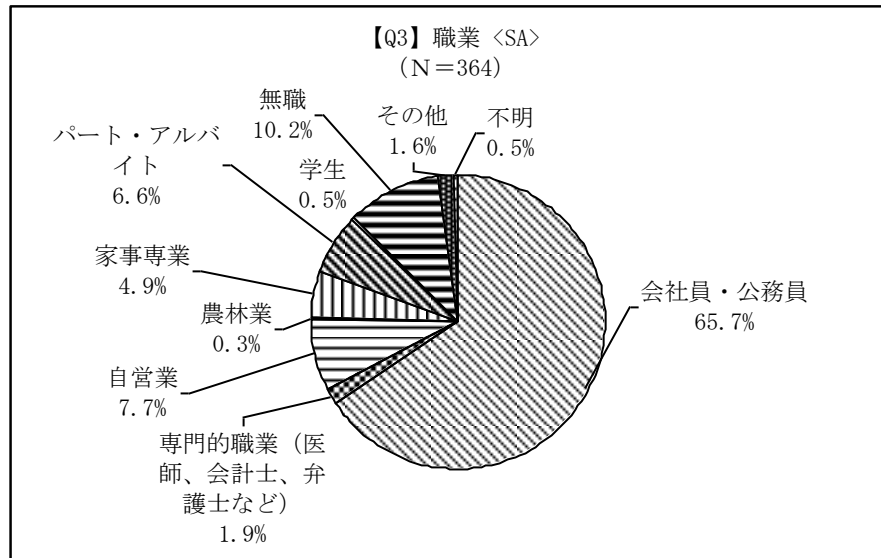
図表 2 年代



(3) 職業

回答者の職業は、「会社員・公務員」が65.7%と最も多く、「無職」が10.2%と続いている。

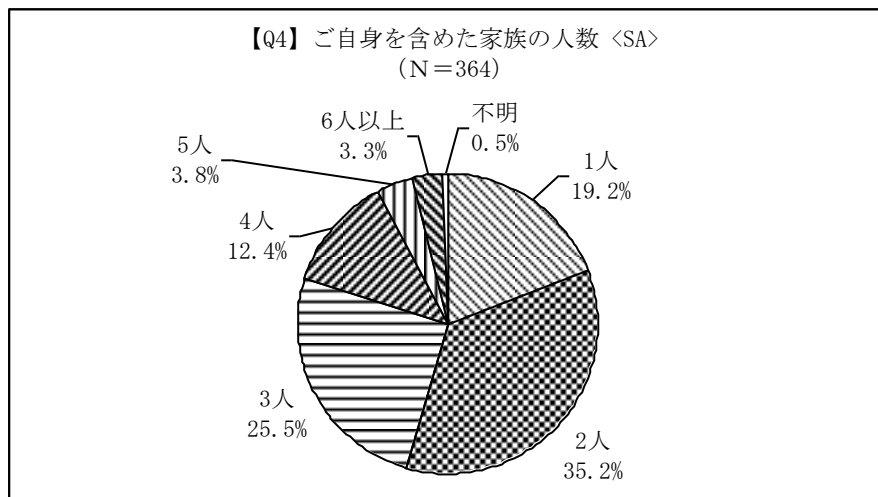
図表 3 職業



(4) 世帯人数

回答者の世帯人数は、「2人」が35.2%と最も多く、「3人」が25.5%、「1人」が19.2%と続いている。

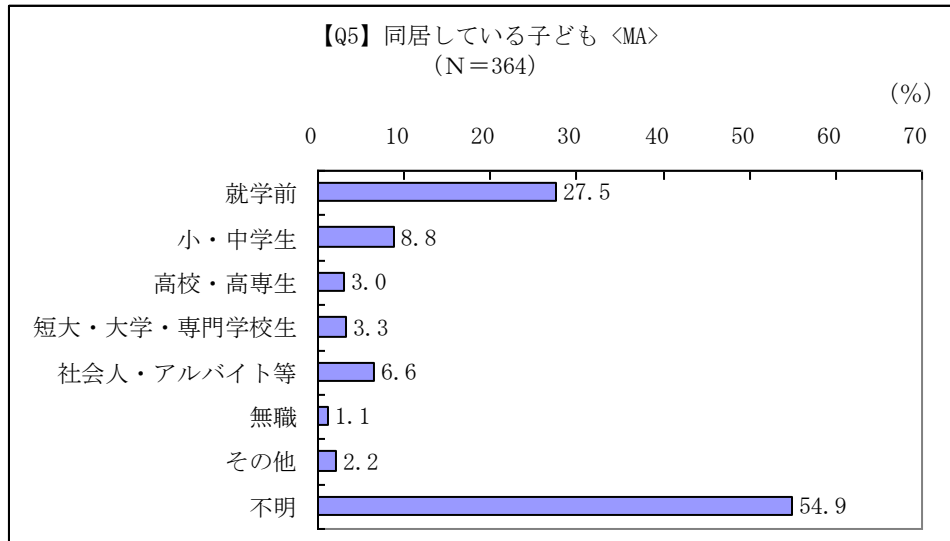
図表 4 世帯人数



(5) 同居している子ども

回答者が同居している子どもは、「就学前」が27.5%と最も多く、「小・中学生」が8.8%と続いている。

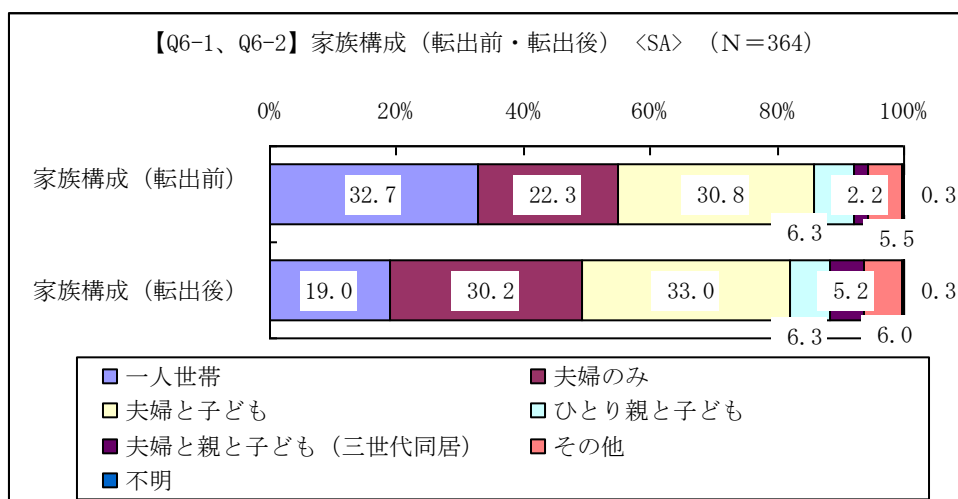
図表 5 同居している子ども



(6) 家族構成

転出前後での家族構成の変化をみると、「一人世帯」が転出前の32.7%から、転出後には19.0%と減少している。一方、「夫婦のみ」は転出前の22.3%から、転出後には30.2%に増加している。

図表 6 家族構成



転出前後での家族構成の変化をみると、いずれの世帯においても、家族構成は同じとするのが最も多いが、「一人世帯」では、35.3%が「夫婦のみ」に変わっている。

図表 7 家族構成（転出前×転出後）

転出後 転出前	合計	一人世帯	夫婦のみ	夫婦と子ども	ひとり親と子ども	夫婦と親と子ども (三世帯)	その他	不明
全体	364	19.0	30.2	33.0	6.3	5.2	6.0	0.3
一人世帯	119	45.4	35.3	10.9	2.5	1.7	4.2	-
夫婦のみ	81	7.4	64.2	16.0	3.7	3.7	3.7	1.2
夫婦と子ども	112	5.4	4.5	78.6	1.8	8.0	1.8	-
ひとり親と子ども	23	4.3	13.0	17.4	52.2	-	13.0	-
夫婦と親と子ども (三世帯)	8	-	12.5	12.5	25.0	50.0	-	-
その他	20	10.0	35.0	-	5.0	5.0	45.0	-
不明	1	-	-	100.0	-	-	-	-

凡例単位：％
 20未満
 ————— 20～40未満
 +++++ 40～60未満
 ■■■■■ 60～80未満
 ■■■■■ 80以上

(7) 転出前後の住所

転出者が多いのは、「第3中学校区」、「第1中学校区」、「第4中学校区」、「第2中学校区」である。転出先としては、「大阪市」、「吹田市」、「茨木市」が多い。転出が多いのは、「第3中学校区→吹田市」、「第3中学校区→大阪市」、「第1中学校区→吹田市」である。

図表 8 転出前後の住所

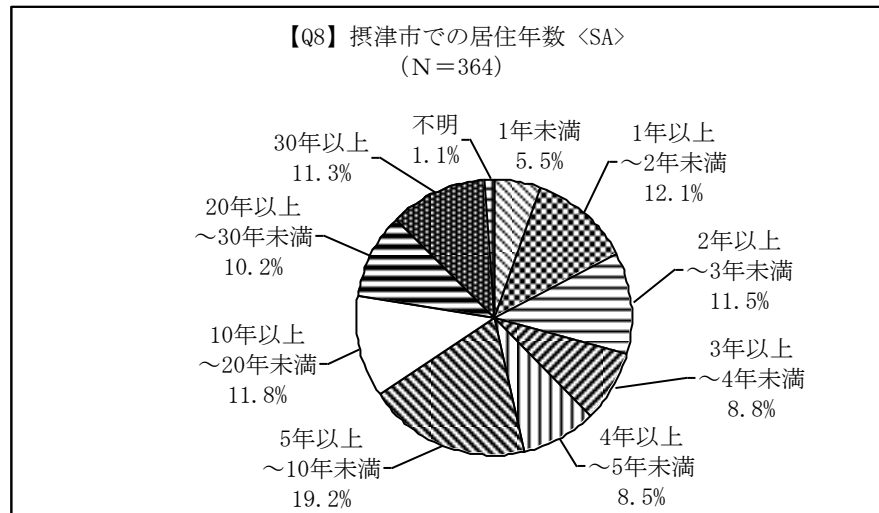
転出元 転出先	第1 中学校区	第2 中学校区	第3 中学校区	第4 中学校区	第5 中学校区	不明	合計
大阪市	17	15	22	13	5	2	74
吹田市	21	6	28	9		1	65
茨木市	9	10	17	5	9	2	52
高槻市	6	7	3	3	2		21
守口市	2	5	1	1			9
寝屋川市	1	2		2			5
門真市	1	2		1	1		5
枚方市		1	1	3	1		6
大東市、四条畷市、交野市	1	1	1	1		1	5
その他北大阪地域	4	5	9	5			23
河内地域	3	2	4	3	1		13
泉州地域		3		6		1	10
京都府	6	2	3	5			16
滋賀県		1		1			2
兵庫県	9		18	4	6		37
奈良県	2		1	3			6
その他						1	1
不明		1	2		1	10	14
合計	82	63	110	65	26	18	364

(注)10人以上の転出があるセルに色を付けている。

(8) 摂津市での居住年数

摂津市での居住年数をみると、居住年数が5年未満の居住者で46.4%と半数近くを占める。

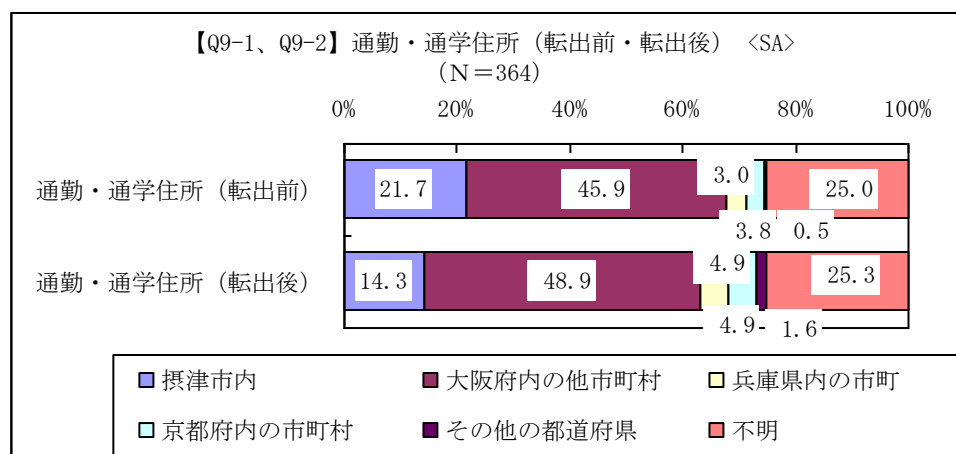
図表 9 摂津市での居住年数



(9) 通勤・通学先

通勤・通学先については、転出前・転出後に関わらず、「大阪府内の他市町村」が最も多い。通勤・通学先の変化をみると、「摂津市内」が転出前の21.7%から転出後には14.3%に減少している。

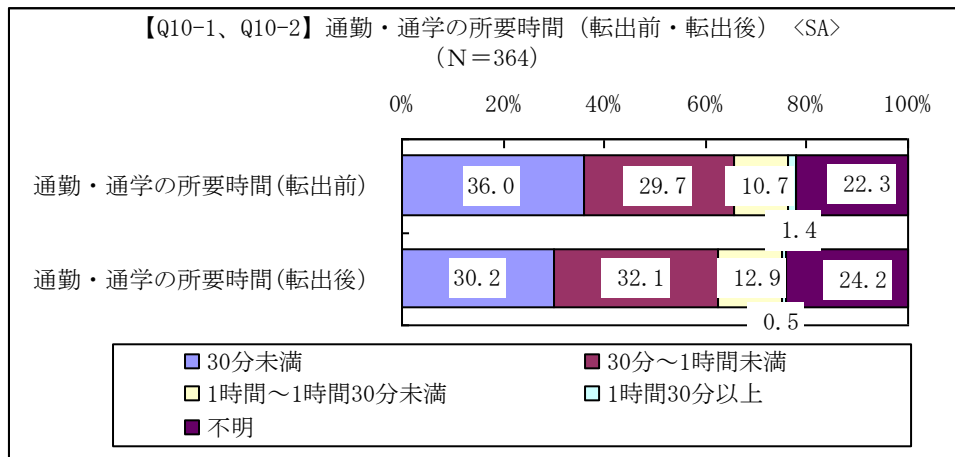
図表 10 通勤・通学先



(10) 通勤・通学の所要時間

通勤・通学の所要時間については、転出前は「30分未満」が36.0%と最も多く、「30分～1時間未満」が29.7%と続いている。一方、転出後は「30分～1時間未満」が32.1%と最も多く、「30分未満」の30.2%が続いている。転出により通勤・通学の所要時間は長くなる傾向がある。

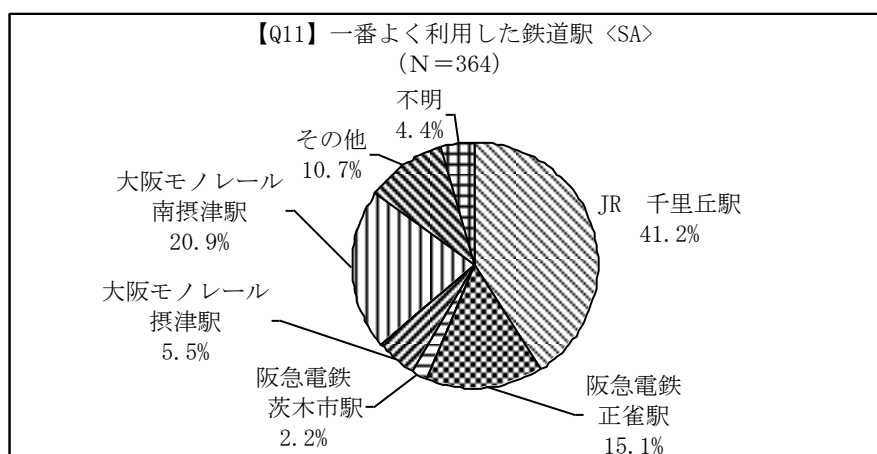
図表 11 通勤・通学の所要時間



(11) 日常的によく利用した鉄道駅

日常的によく利用した鉄道駅としては、「JR千里丘駅」が41.2%と最も多く、「大阪モノレール南摂津駅」が20.9%と続いている。

図表 12 一番よく利用した鉄道駅

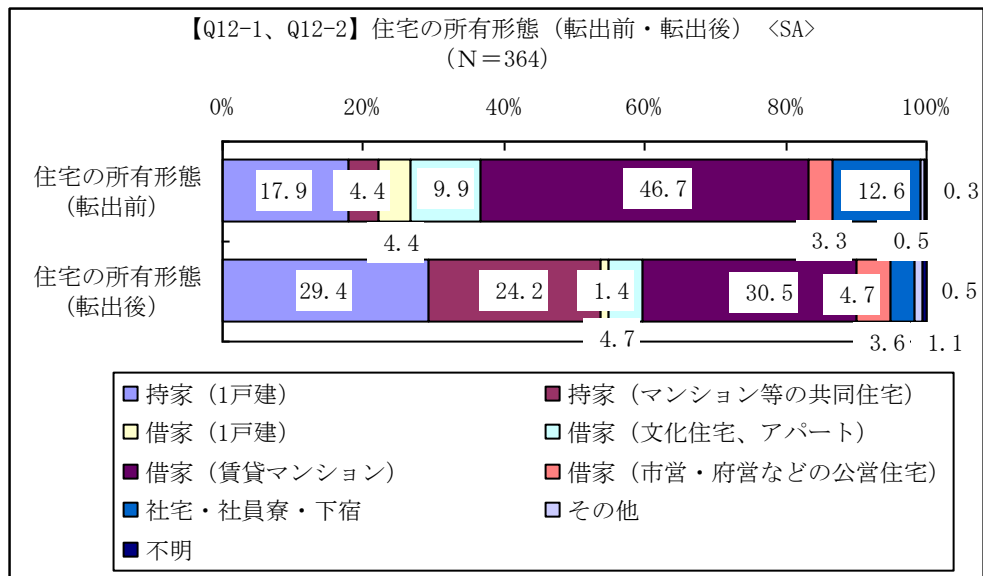


2. お住まいの住宅について

(1) 住宅の所有形態

転出前後での住宅の所有形態をみると、借家から持家が変わった回答者が多い。「借家（賃貸マンション）」が転出前の46.7%から転出後には30.5%へと減少している。一方、「持家（1戸建）」が転出前の17.9%から転出後には29.4%へと増加している。「持家（マンション等の共同住宅）」も、転出前の4.4%から転出後には24.2%へ増加している。

図表 13 住宅の所有形態

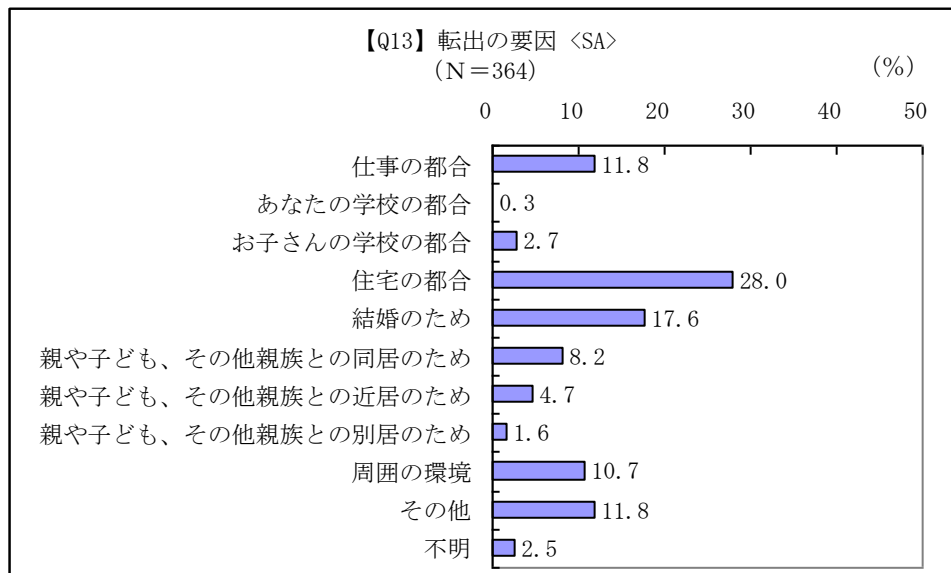


3. 転出の理由について

(1) 転出の要因

転出の要因としては、「住宅の都合」が28.0%と最も多く、「結婚のため」が17.6%と続いている。

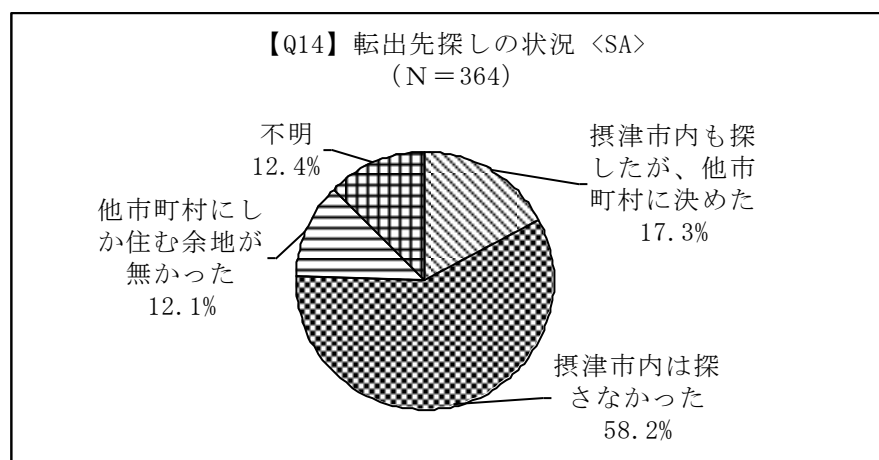
図表 14 転出の要因



(2) 転出にあたっての住まい探しの状況

転出にあたっての住まい探しの状況については、「摂津市内は探さなかった」が58.2%と最も多く、「摂津市内も探したが、他市町村に決めた」が17.3%と続いている。

図表 15 転出にあたっての住まい探しの状況



転出にあたっての住まい探しの状況について、転出の要因別にみると、「住宅の都合」の場合は、「摂津市内も探したが、他市町村に決めた」の割合が25.5%とやや高い。

図表 16 転出にあたっての住まい探しの状況（転出の要因別）

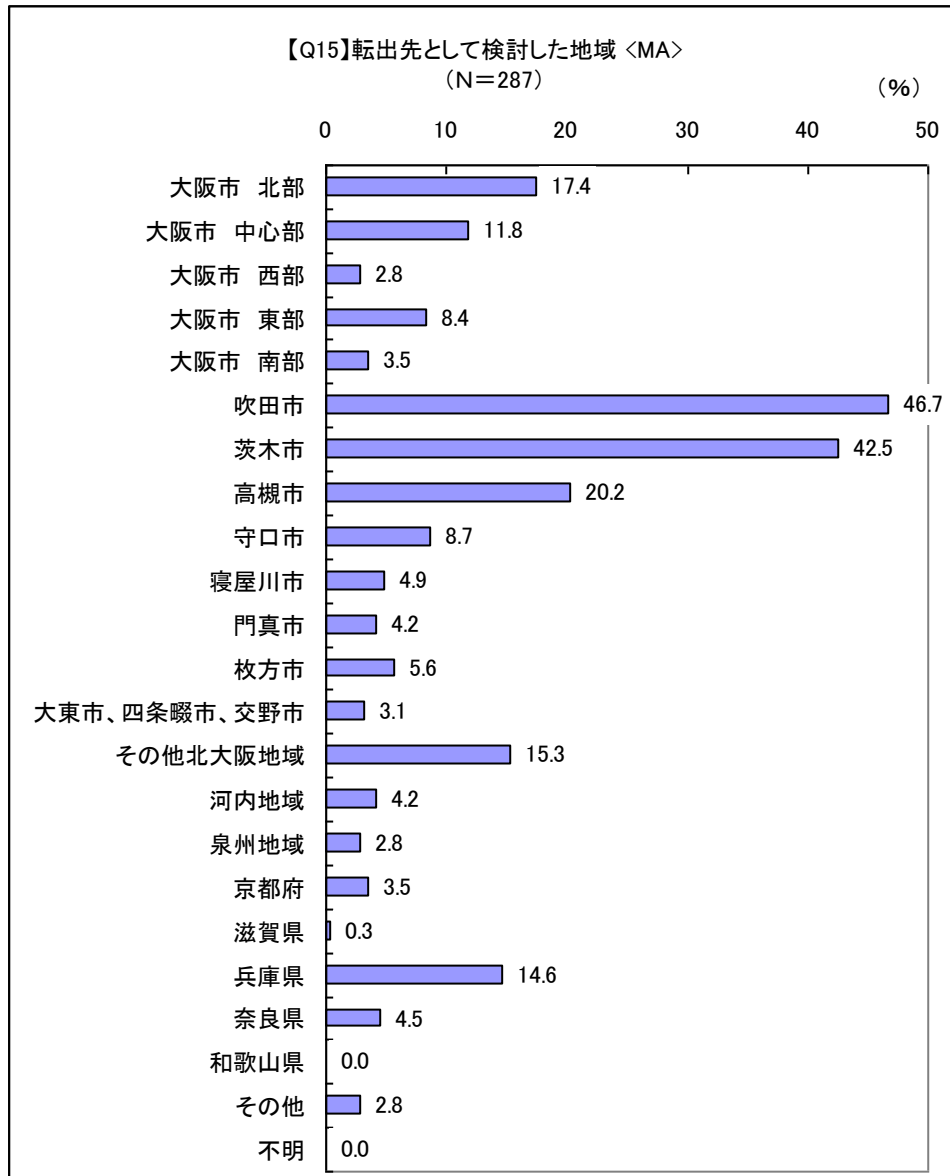
転出にあたっての 住まい探しの 状況	合計	摂津市内 も探したが、他市 町村に決 めた	摂津市内 は探さな かった	他市町村 に住む余 地しか無 かった	不明
転出の要因 全体	364 100.0	63 17.3	212 58.2	44 12.1	45 12.4
仕事の都合	43 100.0	3 7.0	23 53.5	9 20.9	8 18.6
あなたの学校の都合	1 100.0		1 100.0		
お子さんの学校の都合	10 100.0		9 90.0		1 10.0
住宅の都合	102 100.0	26 25.5	67 65.7	1 1.0	8 7.8
結婚のため	64 100.0	11 17.2	33 51.6	14 21.9	6 9.4
親や子ども、その他 の親族との同居のため	30 100.0	3 10.0	12 40.0	11 36.7	4 13.3
親や子ども、その他 の親族との近居のため	17 100.0	1 5.9	9 52.9	3 17.6	4 23.5
親や子ども、その他 の親族との別居のため	6 100.0	1 16.7	3 50.0	1 16.7	1 16.7
周囲の環境	39 100.0	8 20.5	26 66.7		5 12.8
その他	43 100.0	8 18.6	22 51.2	5 11.6	8 18.6
不明	9 100.0	2 22.2	7 77.8		

（各項目の1行目は件数、2行目は%）

(3) 転出先として検討した地域

転出先として検討した地域としては、「吹田市」が46.7%と最も多く、「茨木市」の42.5%、「高槻市」の20.2%が続いている。

図表 17 転出先として検討した地域（あてはまる地域を全て選択）

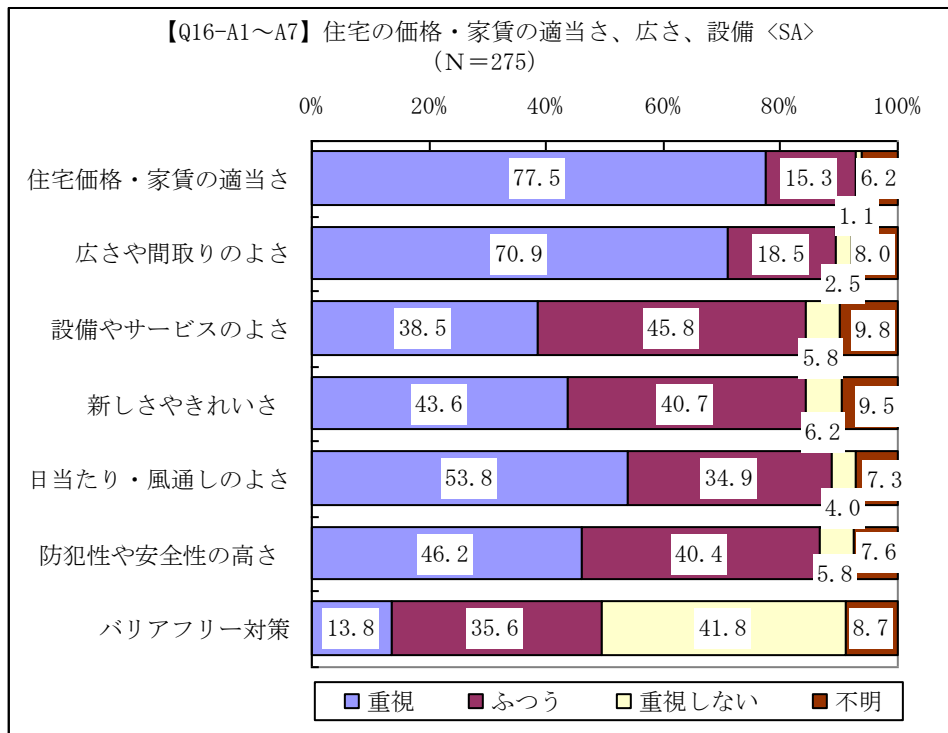


(4) 転出先の決定にあたって重視した要因

① 住宅の価格・家賃の適当さ、広さ、設備

住宅の価格・家賃の適当さ、広さ、設備などに関しては、「住宅価格・家賃の適当さ」を重視する割合が77.5%と最も多く、「広さや間取りのよさ」が70.9%と続いている。

図表 18 住宅の価格・家賃の適当さ、広さ、設備



年齢別にみると、20歳代では「住宅価格・家賃の適正さ」「広さや間取りのよさ」「設備やサービスのよさ」「新しさやきれいさ」を、30歳代では「住宅価格・家賃の適正さ」「広さや間取りのよさ」「設備やサービスのよさ」を、40歳代では「新しさやきれいさ」を、50歳代では「日当たり・風通しのよさ」「防犯性や安全性の高さ」「バリアフリー対策」を重視している。

大阪市に転出した人は「設備やサービスのよさ」「新しさやきれいさ」を、茨木市に転出した人は「広さや間取りのよさ」「日当たり・風通しのよさ」「バリアフリー対策」を重視している。

転出要因が「住宅の都合」の方は、「広さや間取りのよさ」「新しさやきれいさ」「日当たり・風通しのよさ」「防犯性や安全性の高さ」を、「結婚のため」の方は、「住宅価格・家賃の適正さ」「広さや間取りのよさ」を重視している。

図表 19 住宅の価格・家賃の適正さ、広さ、設備（属性別）

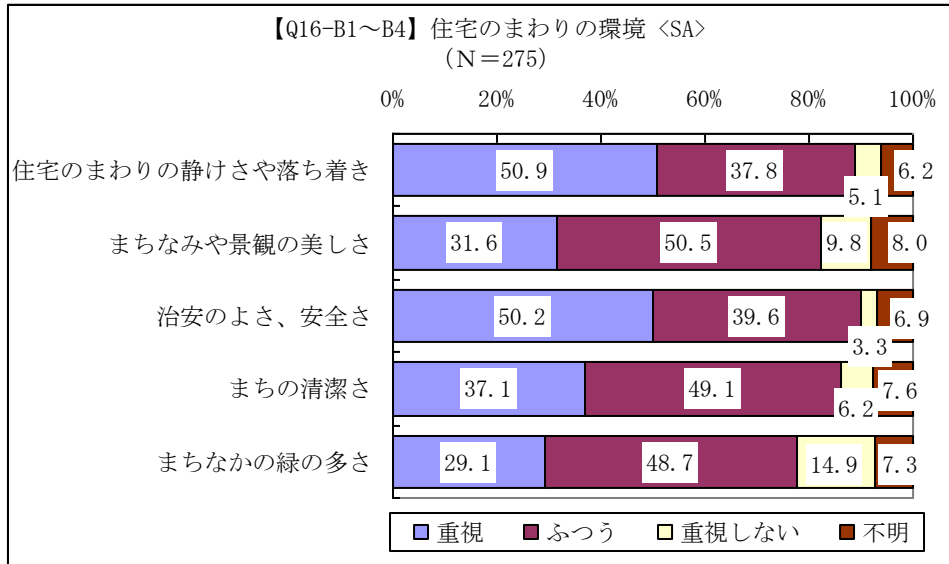
「N=30」以上の選択肢		A1 住宅価格・家賃の適正さ	A2 広さや間取りのよさ	A3 設備やサービスのよさ	A4 新しさやきれいさ	A5 日当たり・風通しのよさ	A6 防犯性や安全性の高さ	A7 バリアフリー対策
全体		77.5%	70.9%	38.5%	43.6%	53.8%	46.2%	13.8%
性別	男性(N=201)							
	女性(N=74)							
年齢	20歳代(N=51)	90.2%	82.4%	45.1%	51.0%			
	30歳代(N=123)	82.9%	78.0%	43.9%				
	40歳代(N=35)				51.4%			
	50歳代(N=32)					68.8%	56.3%	40.6%
職業	会社員・公務員(N=190)	83.7%	76.3%					
子ども	就学前(N=77)		84.4%	49.4%	54.5%	70.1%	64.9%	
家族構成 (転出前)	一人世帯(N=78)	87.2%		43.6%				
	夫婦のみ(N=64)			43.8%	53.1%		53.1%	
	夫婦と子ども(N=92)					63.0%		23.9%
家族構成 (転出後)	一人世帯(N=51)	86.3%						
	夫婦のみ(N=84)		77.9%	44.2%	50.5%	65.3%	58.9%	22.1%
	夫婦と子ども(N=95)							
居住地 (転出前)	第一中学校区(N=58)		75.9%					
	第二中学校区(N=50)			48.0%	52.0%			
	第三中学校区(N=83)	83.1%	80.7%					
	第四中学校区(N=50)							
居住地 (転出後)	大阪市(N=59)			47.5%	50.8%			
	吹田市(N=55)							
	茨木市(N=42)		83.3%			76.2%		19.0%
所有形態 (転出前)	持家(1戸建)(N=48)							25.0%
	借家(賃貸マンション)(N=130)	85.4%	79.2%				51.5%	
	社宅・社員寮・下宿(N=37)			54.1%	51.4%	67.6%		
所有形態 (転出後)	持家(1戸建)(N=80)						53.8%	
	持家(マンション等)(N=72)		83.3%	47.2%	50.0%	63.9%	68.1%	27.8%
	借家(賃貸マンション)(N=85)	85.9%						
転出要因	住宅の都合(N=93)		83.9%		53.8%	66.7%	57.0%	
	結婚のため(N=44)	90.9%	81.8%					
	周囲の環境(N=34)			44.1%	52.9%		55.9%	
	その他(N=30)							23.3%
家探しの状況	摂津市も探した(N=63)		76.2%					19.0%
	摂津市内は探さなかった(N=212)							
転出先検討地域	大阪市北部(N=48)	85.4%		47.9%				
	大阪市中心部(N=33)			48.5%				
	吹田市(N=128)		76.6%					
	茨木市(N=118)		79.7%			61.9%	51.7%	
	高槻市(N=54)							
	その他北大阪地域(N=43)	88.4%	86.0%	48.8%	48.8%		62.8%	
	兵庫県(N=41)	92.7%	80.5%	48.8%	53.7%	63.4%	58.5%	

(注)「N=30」以上の選択肢で、全体(平均)よりも「5ポイント以上」重視している属性について、その回答割合を示している。

② 住宅のまわりの環境

住宅のまわりの環境に関しては、「住宅のまわりの静けさや落ち着き」を重視する割合が50.9%と最も多く、「治安のよさ、安全さ」が50.2%と続いている。

図表 20 住宅のまわりの環境



性別にみると、男性は、「治安のよさ、安全さ」を重視している。年齢別みると、20歳代は、「住宅のまわりの静けさや落ち着き」を重視している。50歳代は全ての項目を重視している。

家族構成（転出後）が「夫婦と子ども」や、転出要因が「住宅の都合」の方は、全ての項目を重視している。

図表 21 住宅のまわりの環境（属性別）

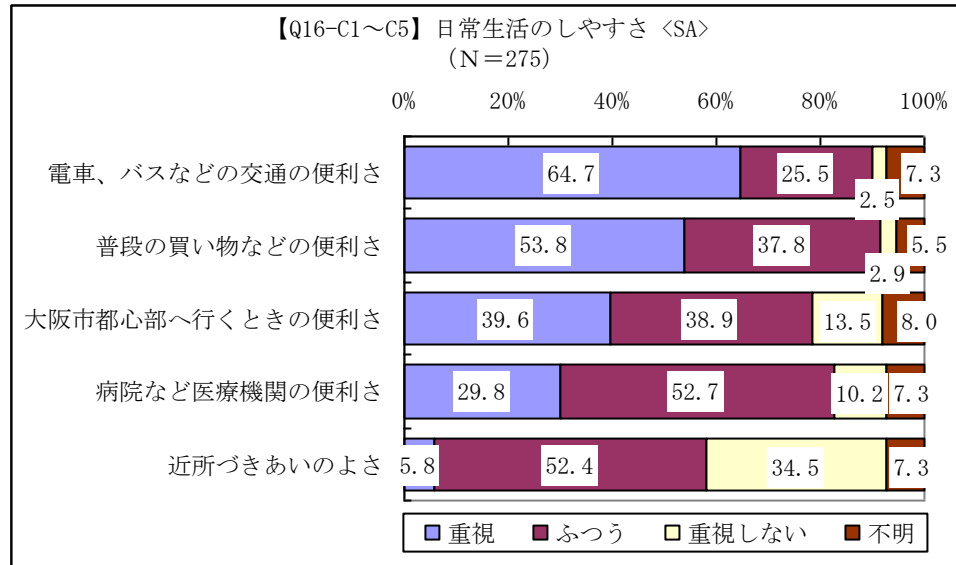
「N=30」以上の選択肢		B1 住宅のまわりの静けさや落ち着き	B2 まちなみの景観や美しさ	B3 治安のよさ、安全さ	B4 まちなかの清潔さ	B5 まちなかの緑の多さ
全体		50.9%	31.6%	50.2%	37.1%	29.4%
性別	男性(N=201)			55.4%		
	女性(N=74)					
年齢	20歳代(N=51)	56.1%				
	30歳代(N=123)					
	40歳代(N=35)					
	50歳代(N=32)	56.3%	40.6%	56.3%	50.0%	46.9%
職業	会社員・公務員(N=190)					
子ども	就学前(N=77)	67.5%	41.6%	70.1%	46.8%	
家族構成 (転出前)	一人世帯(N=78)					
	夫婦のみ(N=64)	60.9%		57.8%	46.9%	
	夫婦と子ども(N=92)	58.7%	39.1%			
家族構成 (転出後)	一人世帯(N=51)					
	夫婦のみ(N=84)					
	夫婦と子ども(N=95)	63.2%	43.2%	63.2%	45.3%	35.8%
居住地 (転出前)	第一中学校区(N=58)					
	第二中学校区(N=50)					
	第三中学校区(N=83)					38.0%
	第四中学校区(N=50)	58.0%				
居住地 (転出後)	大阪市(N=59)					
	吹田市(N=55)	58.2%		58.2%	49.1%	
	茨木市(N=42)	66.7%	42.9%			38.1%
所有形態 (転出前)	持家(1戸建)(N=48)					
	借家(賃貸マンション)(N=130)	57.7%	36.9%	56.9%		
	社宅・社員寮・下宿(N=37)					
所有形態 (転出後)	持家(1戸建)(N=80)	57.5%			43.8%	36.3%
	持家(マンション等)(N=72)	62.5%	44.4%	62.5%	47.2%	36.1%
	借家(賃貸マンション)(N=85)					
転出要因	住宅の都合(N=93)	65.6%	40.9%	59.1%	50.5%	35.5%
	結婚のため(N=44)					
	周囲の環境(N=34)			61.8%	47.1%	35.3%
	その他(N=30)					
家探しの状況	摂津市も探した(N=63)					
	摂津市内は探さなかった(N=212)					
転出先検討地域	大阪市北部(N=48)					
	大阪市中心部(N=33)					
	吹田市(N=128)	61.7%	41.4%	57.0%	45.3%	35.9%
	茨木市(N=118)	61.9%	40.7%	59.3%	43.2%	
	高槻市(N=54)	57.4%				
	その他北大阪地域(N=43)	69.8%	53.5%	74.4%	58.1%	
	兵庫県(N=41)		46.3%	65.9%	51.2%	45.5%

(注)「N=30」以上の選択肢で、全体(平均)よりも「5ポイント以上」重視している属性について、その回答割合を示している。

③ 日常生活のしやすさ

日常生活のしやすさに関しては、「電車、バスなどの交通の便利さ」を重視する割合が64.7%と最も多く、「普段の買い物などの便利さ」が53.8%と続いている。

図表 22 日常生活のしやすさ



性別にみると、男性は、「普段の買い物などの便利さ」「病院など医療機関の便利さ」を重視している。年齢別にみると、20歳代は、「電車、バスなどの交通の便利さ」「大阪都心部へ行くときの便利さ」を、30歳代は、「普段の買い物などの便利さ」「大阪都心部へ行くときの便利さ」を重視している。

就学前の子どもがいる方は、「病院など医療機関の便利さ」「近所づきあいのよさ」を重視している。家探しにおいて「摂津市も探した方」は、「病院など医療機関の便利さ」を重視している。

図表 23 日常生活のしやすさ（属性別）

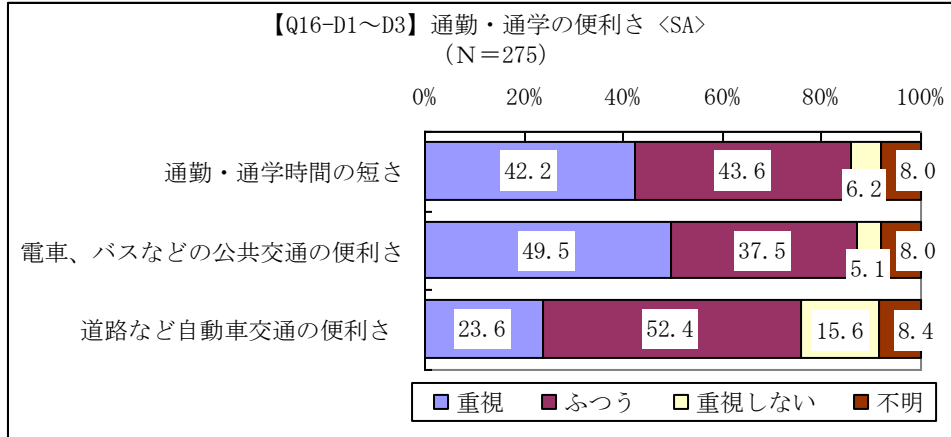
「N=30」以上の選択肢		C1 電車、バスなどの交通の便利さ	C2 普段の買い物などの便利さ	C3 大阪都心部へ行くときの便利さ	C4 病院など医療機関の便利さ	C5 近所づきあいのよさ
全体		64.7%	53.8%	39.6%	29.8%	5.8%
性別	男性(N=201)		60.8%		35.1%	
	女性(N=74)					
年齢	20歳代(N=51)	76.5%		47.1%		
	30歳代(N=123)		61.0%	44.7%		
	40歳代(N=35)					
	50歳代(N=32)					
職業	会社員・公務員(N=190)			45.3%		
子ども	就学前(N=77)				37.7%	11.7%
家族構成 (転出前)	一人世帯(N=78)	82.1%		57.7%		
	夫婦のみ(N=64)					
	夫婦と子ども(N=92)					
家族構成 (転出後)	一人世帯(N=51)	72.5%		54.9%		
	夫婦のみ(N=84)	71.4%				
	夫婦と子ども(N=95)				35.8%	
居住地 (転出前)	第一中学校区(N=58)					
	第二中学校区(N=50)	74.0%		46.0%		12.0%
	第三中学校区(N=83)	75.9%	59.0%	53.0%		
	第四中学校区(N=50)					
居住地 (転出後)	大阪市(N=59)	84.7%	62.7%	59.3%		
	吹田市(N=55)					
	茨木市(N=42)					
所有形態 (転出前)	持家(1戸建)(N=48)				37.5%	
	借家(賃貸マンション)(N=130)		62.3%			
	社宅・社員寮・下宿(N=37)	78.4%		45.9%		
所有形態 (転出後)	持家(1戸建)(N=80)					11.3%
	持家(マンション等)(N=72)	72.2%	69.4%		38.9%	
	借家(賃貸マンション)(N=85)	76.5%	62.4%	52.9%		
転出要因	住宅の都合(N=93)		59.4%			
	結婚のため(N=44)	84.1%	61.4%	50.0%		
	周囲の環境(N=34)		61.8%	50.0%	47.1%	11.8%
	その他(N=30)					
家探しの状況	摂津市も探した(N=63)				34.9%	
	摂津市内は探さなかった(N=212)					
転出先検討地域	大阪市北部(N=48)	77.1%	64.6%	56.3%		
	大阪市中心部(N=33)	93.9%		60.6%		
	吹田市(N=128)					
	茨木市(N=118)					
	高槻市(N=54)					
	その他北大阪地域(N=43)					
	兵庫県(N=41)	78.0%	61.0%			

(注)「N=30」以上の選択肢で、全体(平均)よりも「5ポイント以上」重視している属性について、その回答割合を示している。

④ 通勤・通学の便利さ

通勤・通学の便利さに関しては、「電車、バスなどの公共交通の便利さ」を重視する割合が49.5%と最も多く、「通勤・通学時間の短さ」が42.2%と続いている。

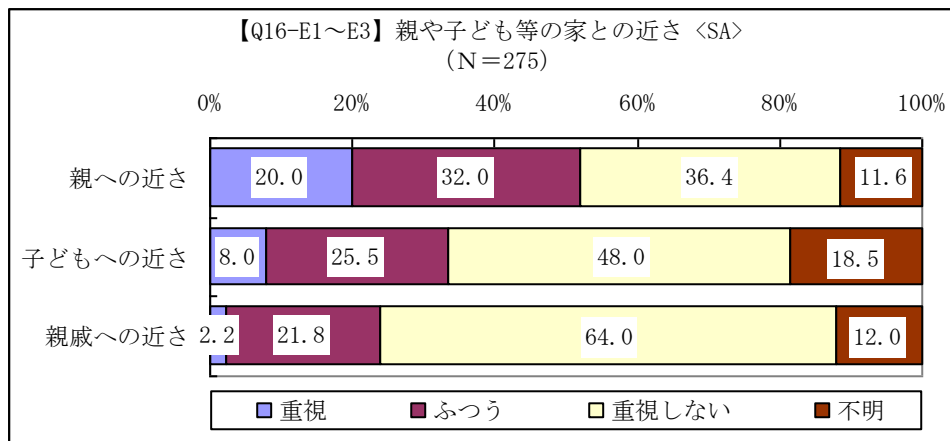
図表 24 通勤・通学の便利さ



⑤ 親や子ども等の家との近さ

親や子ども等の家との近さに関しては、「重視しない」とする割合が高い。「親への近さ」を重視する割合が20.0%と最も多い。

図表 25 親や子ども等の家との近さ



通勤・通学の便利さについて、年齢別にみると、20歳代は、「通勤・通学時間の短さ」「電車、バスなどの公共交通の便利さ」を、50歳代は「通勤・通学時間の短さ」「道路など自動車交通の便利さ」を重視している。茨木市に転出した方は、全ての項目を重視している。

親や子ども等の家との近さについて、年齢別にみると、50歳代は「子どもへの近さ」を重視している。また、「就学前の子どもがいる方」や「夫婦と子ども」の世帯、転出の要因が「結婚のため」の方は、「親への近さ」を重視している。

図表 26 通勤・通学の便利さ、親や子ども等の家との近さ(属性別)

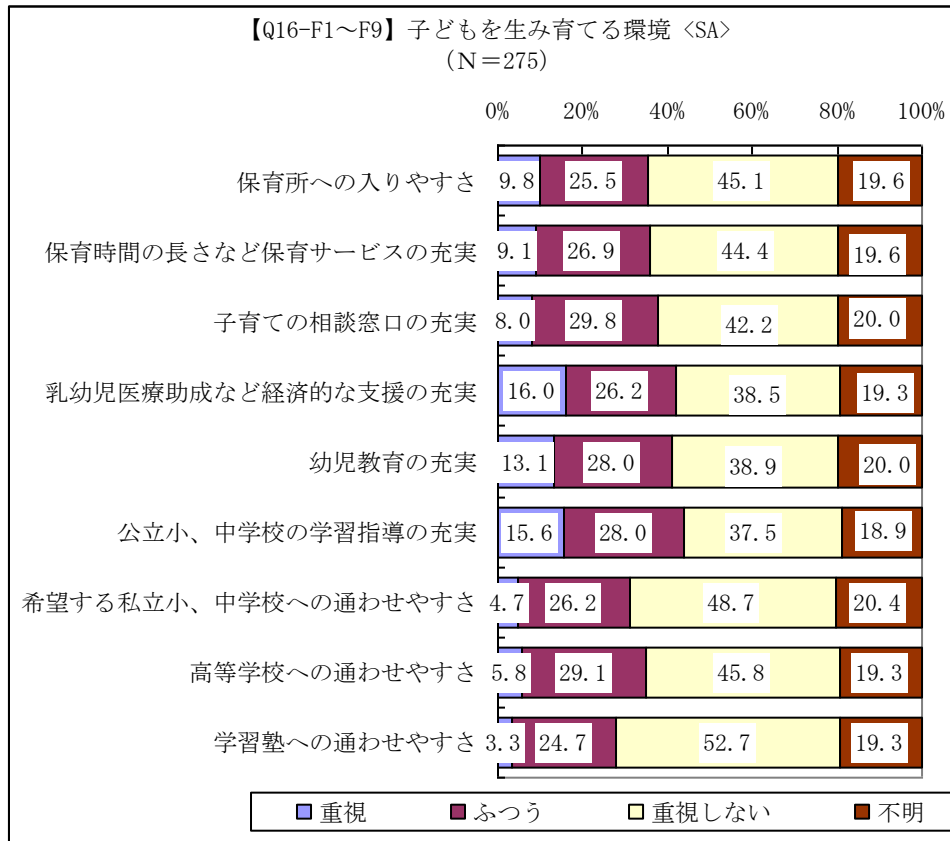
「N=30」以上の選択肢		D1 通勤・通学時間の短さ	D2 電車、バスなどの公共交通の便利さ	D3 道路など自動車交通の便利さ	E1 親への近さ	E2 子どもへの近さ	E3 親戚への近さ
全体		42.2%	49.5%	23.6%	20.0%	8.0%	2.2%
性別	男性(N=201)						
	女性(N=74)						
年齢	20歳代(N=51)	58.8%	54.9%				
	30歳代(N=123)						
	40歳代(N=35)						
	50歳代(N=32)	53.1%		31.3%		15.6%	
職業	会社員・公務員(N=190)						
子ども	就学前(N=77)			32.5%	35.1%		
家族構成(転出前)	一人世帯(N=78)	56.4%	60.3%				
	夫婦のみ(N=64)						
	夫婦と子ども(N=92)				29.3%		
家族構成(転出後)	一人世帯(N=51)	58.8%	58.8%				
	夫婦のみ(N=84)						
	夫婦と子ども(N=95)			29.5%	31.6%		
居住地(転出前)	第一中学校区(N=58)						
	第二中学校区(N=50)		60.0%				
	第三中学校区(N=83)	55.4%	66.3%		27.7%		
	第四中学校区(N=50)						
居住地(転出後)	大阪市(N=59)	55.9%	59.3%		30.5%		
	吹田市(N=55)						
	茨木市(N=42)	52.4%	54.8%	38.1%			
所有形態(転出前)	持家(1戸建)(N=48)			35.4%		16.7%	
	借家(賃貸マンション)(N=130)						
	社宅・社員寮・下宿(N=37)		64.9%				
所有形態(転出後)	持家(1戸建)(N=80)				27.5%		
	持家(マンション等)(N=72)		59.7%				
	借家(賃貸マンション)(N=85)	57.6%	57.6%				
転出要因	住宅の都合(N=93)		55.9%				
	結婚のため(N=44)	61.4%	56.8%	29.5%	27.7%		
	周囲の環境(N=34)		55.9%				
	その他(N=30)					13.3%	
家探しの状況	摂津市も探した(N=63)	54.0%		31.7%			
	摂津市内は探さなかった(N=212)						
転出先検討地域	大阪市北部(N=48)	50.0%					
	大阪市中心部(N=33)	54.5%	69.7%				
	吹田市(N=128)						
	茨木市(N=118)			29.7%			
	高槻市(N=54)						
	その他北大阪地域(N=43)						
	兵庫県(N=41)	48.8%	70.7%				

(注)「N=30」以上の選択肢で、全体(平均)よりも「5ポイント以上」重視している属性について、その回答割合を示している。

⑥ 子どもを生き育てる環境

子どもを生き育てる環境に関しては、「重視しない」とする割合が4割～5割となっている。「乳幼児医療助成など経済的な支援の充実」を重視する割合が16.0%と最も多く、「公立小、中学校の学習指導の充実」が15.6%と続いている。

図表 27 子どもを生き育てる環境



年齢別にみると、20歳代は、「乳幼児医療費助成など経済的な支援の充実」を、30歳代は「公立小・中学校の学習指導の充実」、50歳代は「高等学校への通わせやすさ」を重視している。

就学前の子どもがいる方は、多くの項目を重視している。吹田市へ転出した方は、「乳幼児医療費助成など経済的な支援の充実」「幼児教育の充実」「高等学校への通わせやすさ」を重視している。

図表 28 子どもを生み育てる環境（属性別）

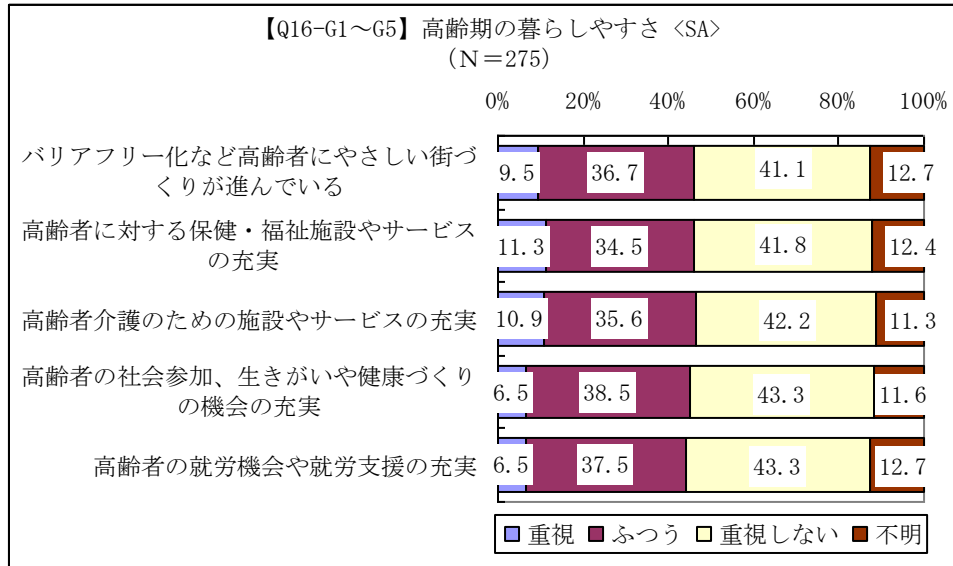
「N=30」以上の選択肢		F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
		保育所への入りやすさ	保育時間の長さなど保育サービスの充実	子育ての相談窓口の充実	乳幼児医療費助成など経済的な支援の充実	幼児教育の充実	公立小・中学校の学習指導の充実	希望する私立小・中学校への通わせやすさ	高等学校への通わせやすさ	学習塾への通わせやすさ
全体		9.8%	9.1%	8.0%	16.0%	13.1%	15.6%	4.7%	5.8%	3.3%
性別	男性(N=201) 女性(N=74)									
年齢	20歳代(N=51) 30歳代(N=123) 40歳代(N=35) 50歳代(N=32)				21.6%		22.0%			
職業	会社員・公務員(N=190)								15.6%	
子ども	就学前(N=77)	19.5%	19.5%	16.9%	41.6%	31.2%	32.5%			
家族構成(転出前)	一人世帯(N=78) 夫婦のみ(N=64) 夫婦と子ども(N=92)				28.3%	22.8%	28.3%			
家族構成(転出後)	一人世帯(N=51) 夫婦のみ(N=84) 夫婦と子ども(N=95)				30.5%	23.2%	27.4%			
居住地(転出前)	第一中学校区(N=58) 第二中学校区(N=50) 第三中学校区(N=83) 第四中学校区(N=50)			14.0%						
居住地(転出後)	大阪市(N=59) 吹田市(N=55) 茨木市(N=42)				25.5%	20.0%		10.9%		
所有形態(転出前)	持家(1戸建)(N=48) 借家(賃貸マンション)(N=130) 社宅・社員寮・下宿(N=37)				21.5%					
所有形態(転出後)	持家(1戸建)(N=80) 持家(マンション等)(N=72) 借家(賃貸マンション)(N=85)						22.2%			
転出要因	住宅の都合(N=93) 結婚のため(N=44) 周囲の環境(N=34) その他(N=30)						20.6%			8.8%
家探しの状況	摂津市も探した(N=63) 摂津市内は探さなかった(N=212)									
転出先検討地域	大阪市北部(N=48) 大阪市中心部(N=33) 吹田市(N=128) 茨木市(N=118) 高槻市(N=54) その他北大阪地域(N=43) 兵庫県(N=41)				21.2%					

(注)「N=30」以上の選択肢で、全体(平均)よりも「5ポイント以上」重視している属性について、その回答割合を示している。

⑦ 高齢期の暮らしやすさ

高齢期の暮らしやすさに関しては、「重視しない」とする割合が約4割となっている。「高齢者に対する保健・福祉施設やサービスの充実」を重視する割合が11.3%と最も多い。

図表 29 高齢期の暮らしやすさ



年齢別にみると、50歳代は、全ての項目を重視している。また、転出前の住宅が「持家（一戸建）」の方も、全ての項目を重視している。

図表 30 高齢期の暮らしやすさ（属性別）

「N=30」以上の選択肢		G1	G2	G3	G4	G5
		バリアフリー化など高齢者に優しいまちづくりが進んでいる	高齢者に対する保健・福祉施設やサービスの充実	高齢介護のための施設やサービスの充実	高齢者の社会参加、生きがいや健康づくりの機会の充実	高齢者の就労機会や就労支援の充実
全体		9.5%	11.3%	10.9%	6.5%	6.5%
性別	男性(N=201)					
	女性(N=74)					
年齢	20歳代(N=51)					
	30歳代(N=123)					
	40歳代(N=35)					
	50歳代(N=32)	28.1%	25.0%	25.0%	15.6%	18.8%
	職業	会社員・公務員(N=190)				
子ども	就学前(N=77)					
家族構成 (転出前)	一人世帯(N=78)					
	夫婦のみ(N=64)					
	夫婦と子ども(N=92)					
家族構成 (転出後)	一人世帯(N=51)					
	夫婦のみ(N=84)					
	夫婦と子ども(N=95)					
居住地 (転出前)	第一中学校区(N=58)					
	第二中学校区(N=50)					
	第三中学校区(N=83)					
	第四中学校区(N=50)		20.0%	18.0%		
居住地 (転出後)	大阪市(N=59)					
	吹田市(N=55)					
	茨木市(N=42)					
所有形態 (転出前)	持家(一戸建)(N=48)	25.0%	27.1%	31.3%	20.8%	16.7%
	借家(賃貸マンション)(N=130)					
	社宅・社員寮・下宿(N=37)					
所有形態 (転出後)	持家(一戸建)(N=80)					
	持家(マンション等)(N=72)	15.3%				
転出要因	借家(賃貸マンション)(N=85)					
	住宅の都合(N=93)					11.5%
	結婚のため(N=44)					
	周囲の環境(N=34)					
家探しの状況	その他(N=30)					
	摂津市も探した(N=63)					
転出先検討地域	摂津市内は探さなかった(N=212)					
	大阪市北部(N=48)					
	大阪市中心部(N=33)					
	吹田市(N=128)					
	茨木市(N=118)					
	高槻市(N=54)					
	その他北大阪地域(N=43)					
兵庫県(N=41)						

(注)「N=30」以上の選択肢で、全体(平均)よりも「5ポイント以上」重視している属性について、その回答割合を示している。

(5) 転出先の決定にあたって決め手となった要因

転出先の決定にあたって決め手となった要因として、1番目に重視した点としては、「住宅価格・家賃の適当さ」、「電車、バスなどの交通の便利さ」、「広さや間取りのよさ」、「親への近さ」、「住宅のまわりの静けさや落ち着き」、「通勤・通学時間の短さ」が多くあげられている。

図表 31 転出先の決定にあたって決め手となった要因

(単位：件)

		1番目に重視	2番目に重視	3番目に重視
A)住宅の価格・家賃の適当さ、広さ、設備	A1 住宅価格・家賃の適当さ	76	33	22
	A2 広さや間取りのよさ	17	26	23
	A3 設備やサービスのよさ	3	2	2
	A4 新しさやきれいさ	1	5	7
	A5 日当たり・風通しのよさ	4	16	15
	A6 防犯性や安全性の高さ	3	2	9
	A7 バリアフリー対策	1	3	0
B)住宅のまわりの環境	B1 住宅のまわりの静けさや落ち着き	15	19	18
	B2 まちなみの景観や美しさ	3	5	2
	B3 治安のよさ、安全さ	6	12	9
	B4 まちの清潔さ	1	1	4
	B5 まちなかの緑の多さ	3	3	2
C)日常生活のしやすさ	C1 電車、バスなどの交通の便利さ	22	21	25
	C2 普段の買い物などの便利さ	3	13	18
	C3 大阪市都心部へ行くときの便利さ	3	5	6
	C4 病院など医療機関の便利さ	1	5	6
	C5 近所づきあいのよさ	0	0	0
D)通勤・通学の便利さ	D1 通勤・通学時間の短さ	13	20	17
	D2 電車、バスなどの公共交通の便利さ	6	5	4
	D3 道路など自動車交通の便利さ	1	1	1
E)親や子ども等の家との近さ	E1 親への近さ	16	3	7
	E2 子どもへの近さ	4	2	2
	E3 親戚への近さ	0	1	0
F)子どもを生き育てる環境	F1 保育所への入りやすさ	0	0	1
	F2 保育時間の長さなど保育サービスの充実	0	0	1
	F3 子育ての相談窓口の充実	0	0	1
	F4 乳幼児医療費助成など経済的な支援の充実	1	0	0
	F5 幼児教育の充実	1	1	0
	F6 公立小・中学校の学習指導の充実	5	3	2
	F7 希望する私立小・中学校への通わせやすさ	0	1	1
	F8 高等学校への通わせやすさ	0	0	0
	F9 学習塾への通わせやすさ	0	1	0
G)高齢期の暮らしやすさ	G1 バリアフリー化など高齢者にやさしいまちづくりが進んでいる	0	0	2
	G2 高齢者に対する保健・福祉施設やサービスの充実	0	0	1
	G3 高齢者介護のための施設やサービスの充実	1	1	1
	G4 高齢者の社会参加、生きがいや健康づくりの機会の充実	0	0	1
	G5 高齢者の就労機会や就労支援の充実	1	0	0
H)その他	H その他	1	0	0

(注) 「1番目に重視した点」としてあげられた件数が10件以上の項目に網掛け。

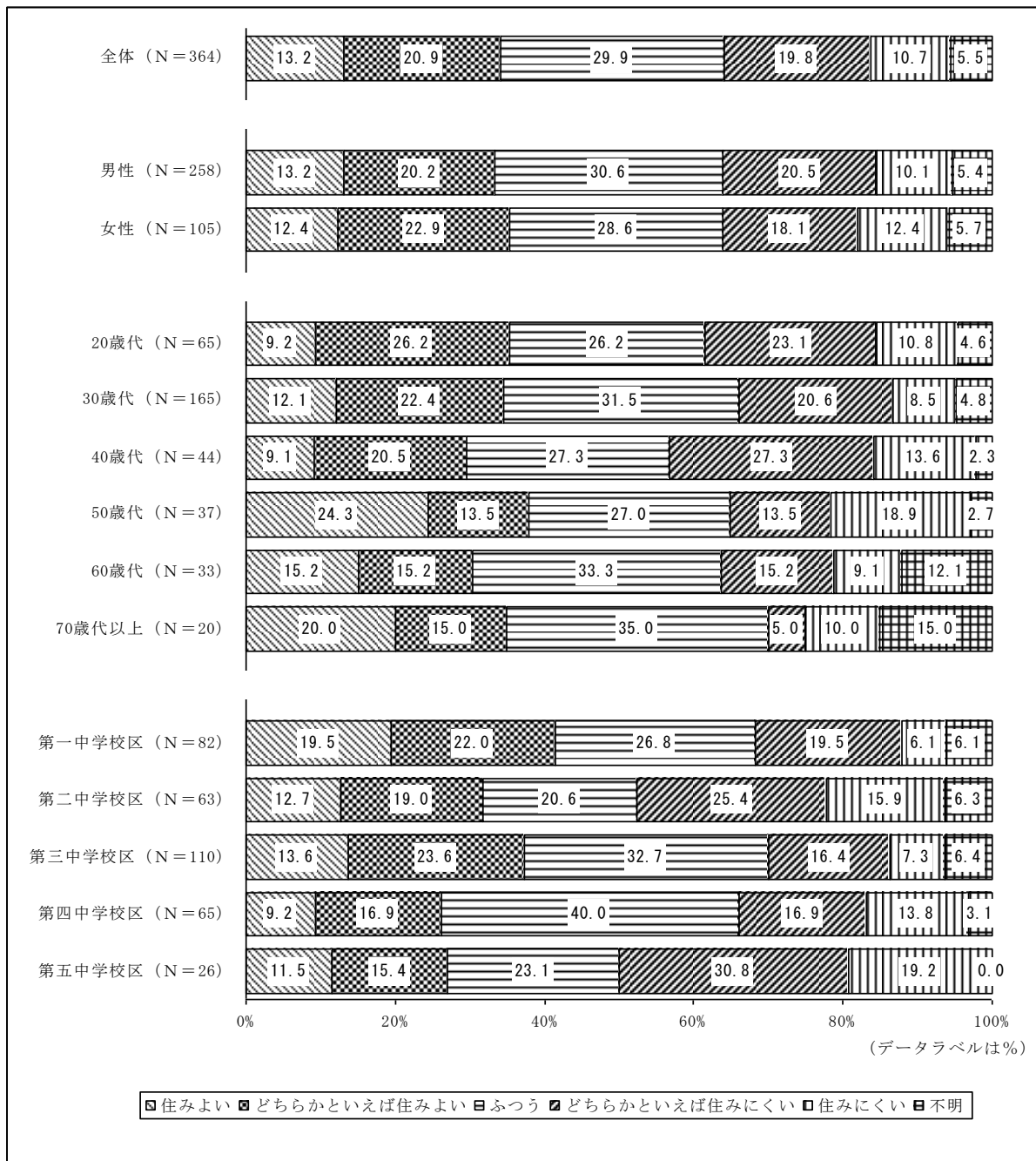
4. 摂津市に住んでみての感想

(1) 摂津市の住みよさ

摂津市の住みよさについては、「ふつう」が29.9%と最も多く、「どちらかといえば住みよい」が20.9%、「どちらかといえば住みにくい」が19.8%と続いている。

性別では特に違いはみられないが、年齢別では40歳代で、居住地別では第二中学校区と第五中学校区で、「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」とする割合が高い。

図表 32 摂津市の住みよさ



(2) 摂津市の住みよいい点

摂津市に住んでいて住みよいと思う点としては、「買い物などの日常の便利さ」が39.6%と最も多く、「通勤・通学の便利さ」が36.8%、「物価が安い」が19.5%と続いている。



転出前の居住地別でみると、「買い物などの日常の便利さ」「通勤・通学の便利さ」を多くあげているのは第一中学校区と第三中学校区、「物価が安い」「近所づきあいがよい」「福祉が充実している」を多くあげているのは第五中学校区である。

年齢別でみると、20歳代では「買い物などの日常の便利さ」「緑や水辺などの自然が多い」を、40歳代では「通勤・通学の便利さ」「病院などの保健・医療体制が整っている」「子育てしやすい」「道路・公園の美化など生活環境がよい」を、50歳代では、「物価が安い」を、60歳代では「近所づきあいがよい」「福祉が充実している」「道路・公園の美化など生活環境がよい」を多くあげている。

図表 33 摂津市の住みよいい点（上表：居住地別、下表：年齢別）（3つまで選択）

	全 体 (N=364)	第一 中学校区 (N=82)	第二 中学校区 (N=63)	第三 中学校区 (N=110)	第四 中学校区 (N=65)	第五 中学校区 (N=26)	不明 (N=18)
買い物などの日常の便利さ	39.6	48.8	31.7	46.4	30.8	34.6	22.2
通勤・通学の便利さ	36.8	42.7	30.2	47.3	27.7	19.2	27.8
物価が安い	19.5	22.0	22.2	14.5	20.0	30.8	11.1
近所づきあいがよい	12.6	14.6	12.7	7.3	15.4	23.1	11.1
住宅条件がよい	9.6	12.2	4.8	10.9	9.2	3.8	16.7
教育環境・条件が整っている	0.8	1.2	0.0	0.0	1.5	0.0	5.6
福祉が充実している	4.4	7.3	3.2	1.8	3.1	11.5	5.6
病院などの保健・医療体制が整っている	5.8	9.8	3.2	5.5	3.1	7.7	5.6
子育てしやすい	5.2	7.3	4.8	5.5	6.2	0.0	0.0
道路などの都市基盤の整備がよい	3.3	1.2	4.8	4.5	1.5	3.8	5.6
まちが安全で安心して暮らせる	9.6	8.5	7.9	9.1	9.2	7.7	27.8
緑や水辺などの自然が多い	12.4	11.0	11.1	16.4	12.3	3.8	11.1
道路・公園の美化など生活環境がよい	3.8	4.9	3.2	3.6	3.1	7.7	0.0
まちのイメージがよい	2.2	0.0	4.8	3.6	1.5	0.0	0.0
その他	5.8	6.1	7.9	4.5	9.2	0.0	0.0
不明	18.7	15.9	23.8	13.6	21.5	26.9	22.2

	全 体 (N=364)	20歳代 (N=65)	30歳代 (N=165)	40歳代 (N=44)	50歳代 (N=37)	60歳代 (N=33)	70歳代以上 (N=20)
買い物などの日常の便利さ	39.6	44.6	39.4	34.1	43.2	27.3	50.0
通勤・通学の便利さ	36.8	32.3	41.2	43.2	40.5	18.2	25.0
物価が安い	19.5	16.9	20.0	20.5	29.7	15.2	10.0
近所づきあいがよい	12.6	4.6	9.1	15.9	13.5	30.3	30.0
住宅条件がよい	9.6	10.8	12.1	11.4	5.4	3.0	0.0
教育環境・条件が整っている	0.8	1.5	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
福祉が充実している	4.4	0.0	3.0	0.0	8.1	12.1	20.0
病院などの保健・医療体制が整っている	5.8	3.1	3.6	11.4	5.4	6.1	20.0
子育てしやすい	5.2	1.5	5.5	11.4	0.0	9.1	5.0
道路などの都市基盤の整備がよい	3.3	3.1	4.2	0.0	8.1	0.0	0.0
まちが安全で安心して暮らせる	9.6	9.2	9.7	9.1	10.8	9.1	10.0
緑や水辺などの自然が多い	12.4	18.5	12.1	6.8	10.8	9.1	15.0
道路・公園の美化など生活環境がよい	3.8	0.0	1.8	9.1	5.4	12.1	5.0
まちのイメージがよい	2.2	1.5	2.4	2.3	2.7	3.0	0.0
その他	5.8	6.2	9.7	2.3	0.0	0.0	0.0
不明	18.7	20.0	14.5	15.9	24.3	30.3	25.0

(凡例)  12.3 全体よりも5ポイント以上大きな値のセル
 12.3 全体よりも5ポイント以上小さな値のセル



(3) 摂津市の住みにくい点

摂津市に住んでいて住みにくいと思う点としては、「道路などの都市基盤の整備がよくない」が25.0%と最も多く、「通勤・通学が不便」が23.6%、「買い物など日常生活が不便」が22.0%と続いている。

転出前の居住地別でみると、「買い物などの日常生活が不便」を多くあげているのは第四中学校区と第五中学校区、「通勤・通学が不便」を多くあげているのは第二中学校区、第四中学校区、第五中学校区、「住宅条件がよくない」を多くあげているのは第五中学校区、「教育環境・条件が整っていない」「まちの安全・安心面に不安がある」を多くあげているのは第二中学校区、「緑や水辺などの自然が少ない」を多くあげているのは第四中学校区である。

図表 34 摂津市の住みにくい点（居住地別）（3つまで選択）


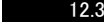
	全 体 (N=364)	第一 中学校区 (N=82)	第二 中学校区 (N=63)	第三 中学校区 (N=110)	第四 中学校区 (N=65)	第五 中学校区 (N=26)	不明 (N=18)
買い物など日常生活が不便	22.0	22.0	20.6	18.2	29.2	30.8	11.1
通勤・通学が不便	23.6	15.9	33.3	11.8	35.4	50.0	16.7
物価が高い	3.8	6.1	1.6	7.3	0.0	0.0	0.0
近所づきあいがよくない	5.2	8.5	3.2	4.5	4.6	7.7	0.0
住宅条件がよくない	14.6	17.1	14.3	10.0	16.9	23.1	11.1
教育環境・条件が整っていない	9.3	7.3	17.5	8.2	6.2	11.5	5.6
福祉が充実していない	6.6	6.1	7.9	5.5	6.2	7.7	11.1
病院などの保健・医療体制が整っていない	19.0	15.9	23.8	15.5	21.5	23.1	22.2
子育てしにくい	7.7	6.1	7.9	8.2	6.2	11.5	11.1
道路などの都市基盤の整備がよくない	25.0	28.0	22.2	22.7	24.6	26.9	33.3
まちの安全・安心面に不安がある	19.8	17.1	25.4	24.5	15.4	11.5	11.1
緑や水辺などの自然が少ない	8.8	13.4	3.2	7.3	13.8	7.7	0.0
道路・公園の美化など生活環境がよくない	13.7	9.8	12.7	18.2	13.8	15.4	5.6
まちのイメージがよくない	17.0	19.5	19.0	16.4	16.9	15.4	5.6
その他	12.9	11.0	14.3	13.6	10.8	11.5	22.2
不明	12.9	17.1	12.7	14.5	6.2	3.8	22.2

(凡例)  12.3 全体よりも5ポイント以上大きな値のセル
 12.3 全体よりも5ポイント以上小さな値のセル

年齢別でみると、20歳代では「通勤・通学が不便」を、30歳代では「まちの安全・安心面に不安がある」、40歳代では「買い物など日常生活が不便」「病院などの保健・医療体制が整っていない」「まちのイメージがよくない」を、50歳代では「近所づきあいがよくない」「教育環境・条件が整っていない」「道路・公園の美化など生活環境がよくない」「まちのイメージがよくない」、60歳代では、「通勤・通学が不便」「住宅条件がよくない」「病院などの保健・医療体制が整っていない」を多くあげている。

図表 35 摂津市の住みにくい点（年齢別）（3つまで選択）

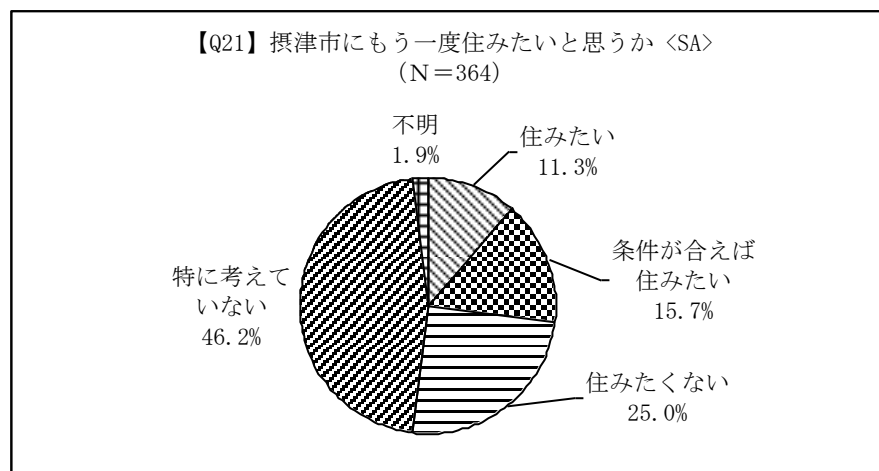
	全体 (N=364)	20歳代 (N=65)	30歳代 (N=165)	40歳代 (N=44)	50歳代 (N=37)	60歳代 (N=33)	70歳代以上 (N=20)
買い物など日常生活が不便	22.0	20.0	20.6	34.1	21.6	24.2	10.0
通勤・通学が不便	23.6	29.2	21.8	18.2	24.3	36.4	10.0
物価が高い	3.8	4.6	3.6	4.5	5.4	3.0	0.0
近所づきあいがよくない	5.2	4.6	3.0	9.1	19.8	9.1	0.0
住宅条件がよくない	14.6	15.4	13.3	18.2	13.5	21.2	5.0
教育環境・条件が整っていない	9.3	3.1	10.9	9.1	18.9	3.0	10.0
福祉が充実していない	6.6	4.6	6.1	9.1	10.8	6.1	5.0
病院などの保健・医療体制が整っていない	19.0	20.0	15.2	27.3	16.2	24.2	25.0
子育てにくい	7.7	6.2	9.7	11.4	8.1	0.0	0.0
道路などの都市基盤の整備がよくない	25.0	23.1	26.7	18.2	24.3	27.3	30.0
まちの安全・安心面に不安がある	19.8	20.0	24.8	18.2	13.5	9.1	10.0
緑や水辺などの自然が少ない	8.8	10.8	7.3	13.6	8.1	9.1	5.0
道路・公園の美化など生活環境がよくない	13.7	13.8	15.2	9.1	18.9	9.1	10.0
まちのイメージがよくない	17.0	10.8	18.8	23.7	24.3	12.1	5.0
その他	12.9	16.9	10.3	13.6	10.8	12.1	25.0
不明	12.9	10.8	10.9	9.1	10.8	21.2	35.0

(凡例)  全体よりも5ポイント以上大きな値のセル
 全体よりも5ポイント以上小さな値のセル

(4) 摂津市への再居住の意向

摂津市への再居住の意向としては、「特に考えていない」が46.2と最も多く、「住みたくない」が25.0%、「条件が合えば住みたい」が15.7%と続いている。

図表 36 摂津市への再居住の意向



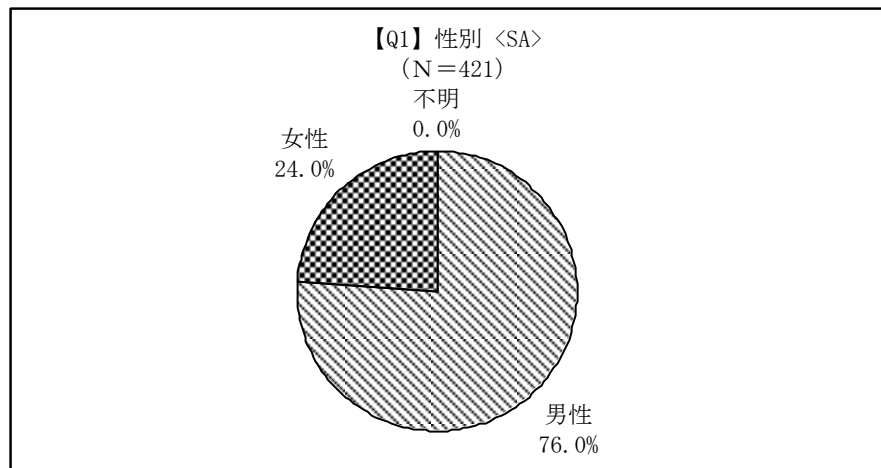
Ⅲ. 転入者調査の調査結果

1. 属性

(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が76.0%、「女性」が24.0%であった。

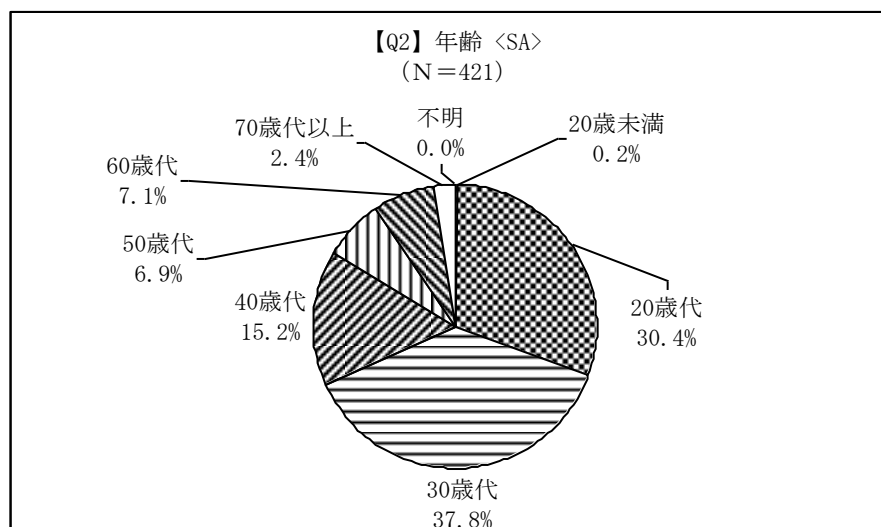
図表 37 性別



(2) 年代

回答者の年代は、40歳代以下で全体の4分の3以上を占めている。「30歳代」が37.8%と最も多く、「20歳代」が30.4%と続いている。

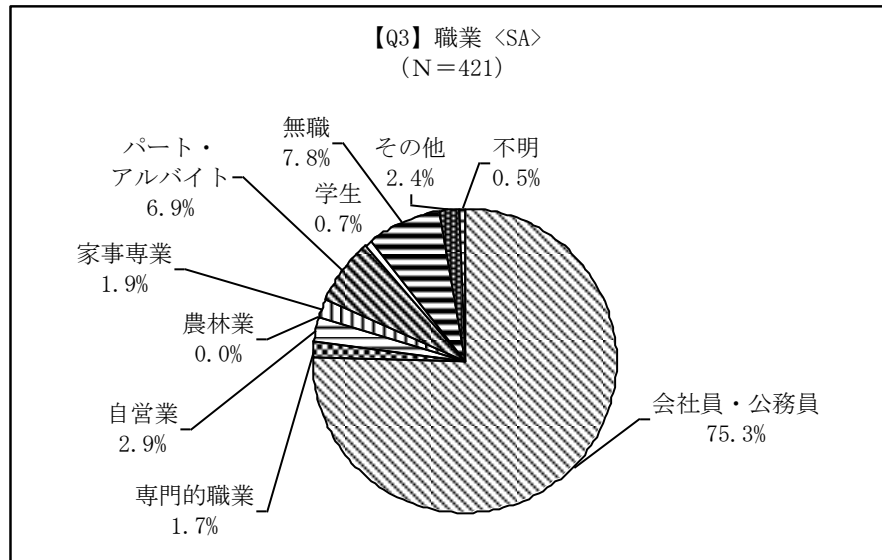
図表 38 年代



(3) 職業

回答者の職業は、「会社員・公務員」が75.3%と最も多く、「無職」が7.8%と続いている。

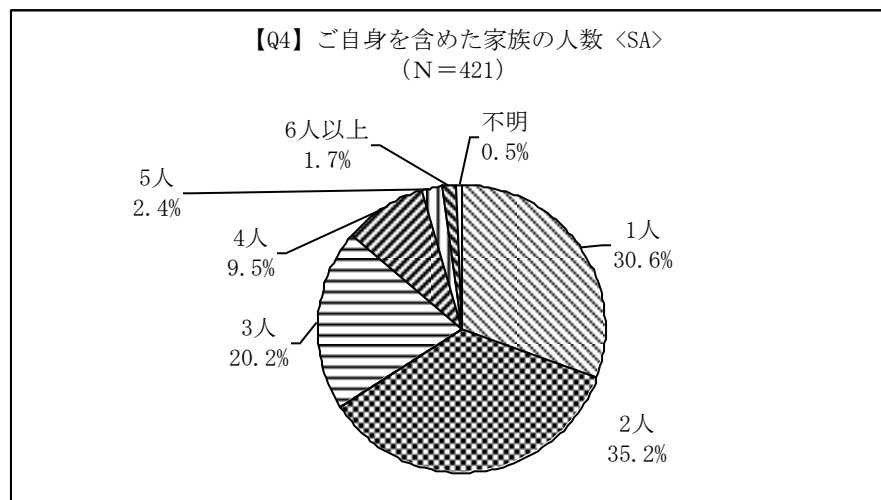
図表 39 職業



(4) 世帯人数

回答者の世帯人数は、「2人」が35.2%と最も多く、「1人」が30.6%、「3人」が20.2%と続いている。

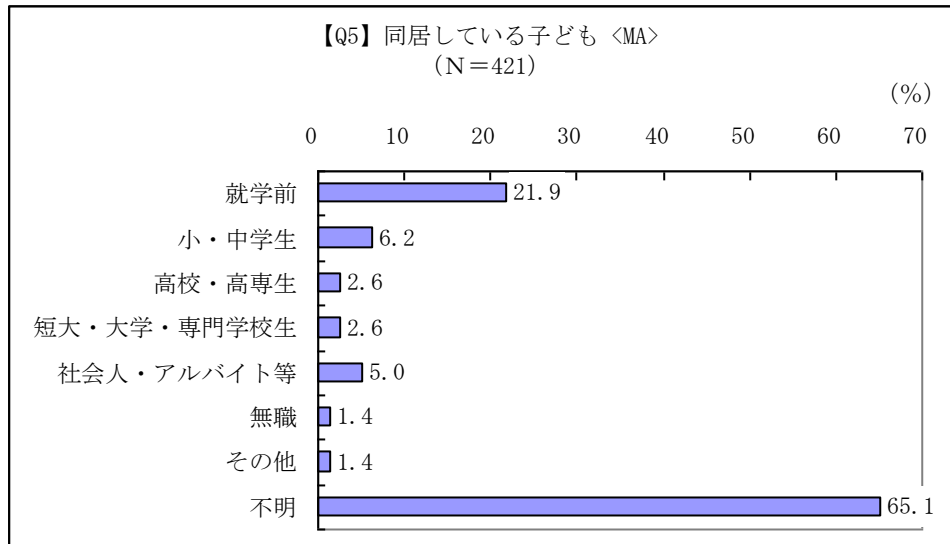
図表 40 世帯人数



(5) 同居している子ども

回答者が同居している子どもは、「就学前」が21.9%と最も多く、「小・中学生」が6.2%と続いている。

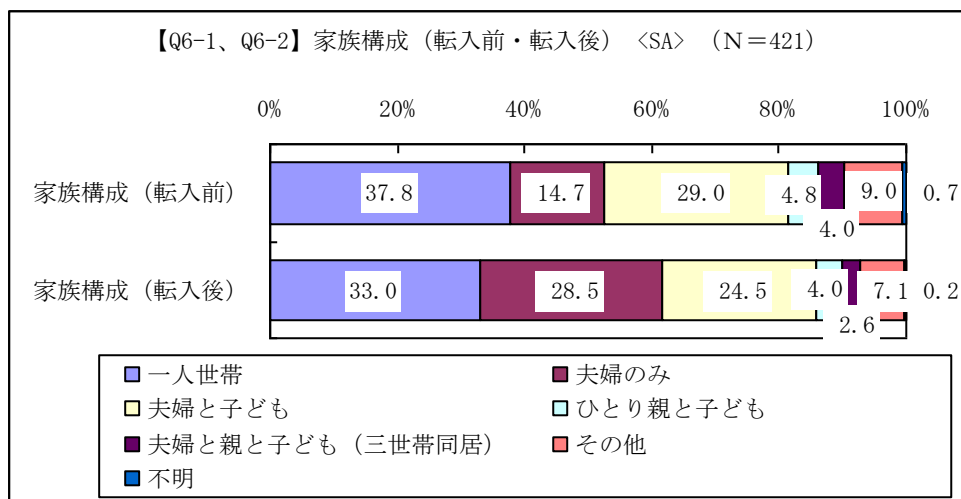
図表 41 同居している子ども



(6) 家族構成

転入前後での家族構成の変化をみると、「一人世帯」が転入前の37.8%から、転入後には33.0%と減少している。一方、「夫婦のみ」は転入前の14.7%から、転入後には28.5%に増加している。

図表 42 家族構成



転入前後での家族構成の変化をみると、家族構成は同じとするのが最も多いが、「一人世帯」では32.1%が「夫婦のみ」に、「夫婦のみ」では30.6%が「夫婦と子ども」に変わっている。

図表 43 家族構成（転入前×転入後）

転入後 \ 転入前	合計	一人世帯	夫婦のみ	夫婦と子ども	ひとり親と子ども	夫婦と親と子ども(三世帯)	その他	不明
全体	421	33.0	28.5	24.5	4.0	2.6	7.1	0.2
一人世帯	159	50.3	32.1	8.8	1.3	1.9	5.7	-
夫婦のみ	62	16.1	43.5	30.6	-	3.2	6.5	-
夫婦と子ども	122	16.4	18.9	47.5	5.7	4.1	7.4	-
ひとり親と子ども	20	40.0	15.0	5.0	35.0	-	5.0	-
夫婦と親と子ども(三世帯)	17	41.2	17.6	35.3	-	5.9	-	-
その他	38	34.2	31.6	13.2	2.6	-	18.4	-
不明	3	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3

凡例単位：％
 20未満
 ===== 20～40未満
 □□□□ 40～60未満
 ■■■■■ 60～80未満
 ■■■■■■ 80以上

(7) 転入前後の住所

転入者が多いのは、「第3中学校区」、「第1中学校区」、「第2中学校区」、「第4中学校区」である。転入元としては、「その他」（近畿2府4県以外）、「大阪市」、「茨木市」、「吹田市」が多い。転入が多いのは、「その他→第3中学校区」、「大阪市→第1中学校区」、「大阪市→第4中学校区」である。

図表 44 転入前後の住所

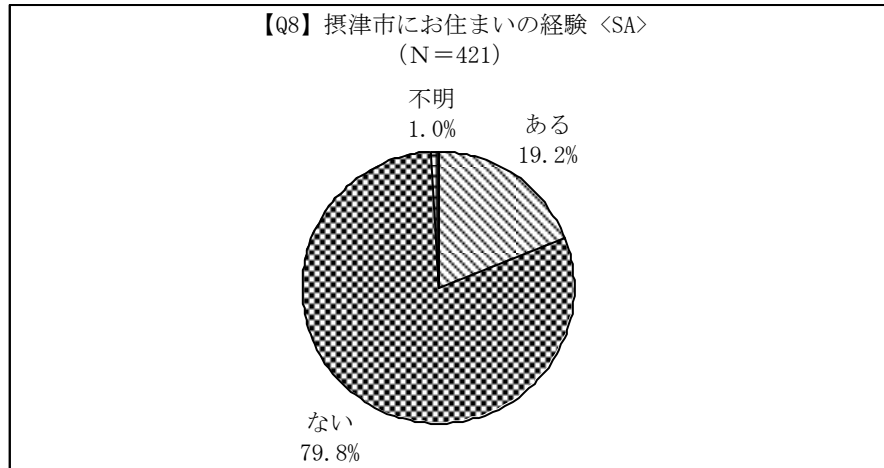
転入元 \ 転入先	第1中学校区	第2中学校区	第3中学校区	第4中学校区	第5中学校区	不明	合計
大阪市	21	10	16	20	4	1	72
吹田市	9	5	17	9	1	1	42
茨木市	9	12	17	2	6	2	48
高槻市	7	6	4	3	3	1	24
守口市		3	1	4			8
寝屋川市	1	1		3			5
門真市	1	1	1				3
枚方市	2	2	5	2			11
大東市、四条畷市、交野市	1	3	3		1		8
その他北大阪地域	4	4	8			1	17
河内地域	1	2	7	4	1		15
泉州地域	3	2	5	1			11
京都府	7	1	2	4		2	16
滋賀県	4		5	2			11
兵庫県	8	1	7	2		1	19
奈良県		2	1	2			5
その他	16	19	32	15	5	2	89
不明	1	3	4	1	4	4	17
合計	95	77	135	74	25	15	421

(注)10人以上の転入があるセルに色を付けている。

(8) 摂津市での居住経験

摂津市での居住経験については、「ない」が79.8%、「ある」が19.2%となっており、約2割の回答者は居住経験を有している。

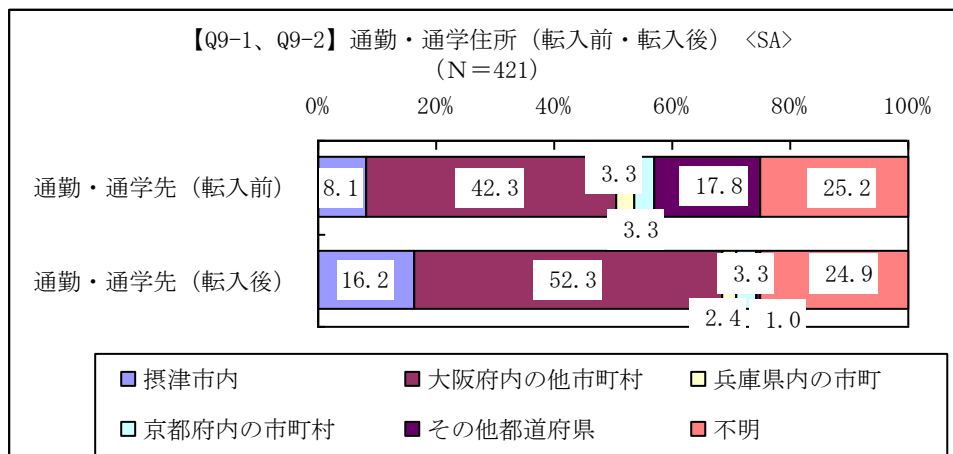
図表 45 摂津市での居住経験



(9) 通勤・通学先

通勤・通学先については、転入前・転入後に関わらず、「大阪府内の他市町村」が最も多い。通勤・通学先の変化をみると、「摂津市内」が転入前の8.1%から転入後には16.2%に増加している。また、転入前に「その他都道府県」へ通勤・通学していた回答者が17.8%みられる。

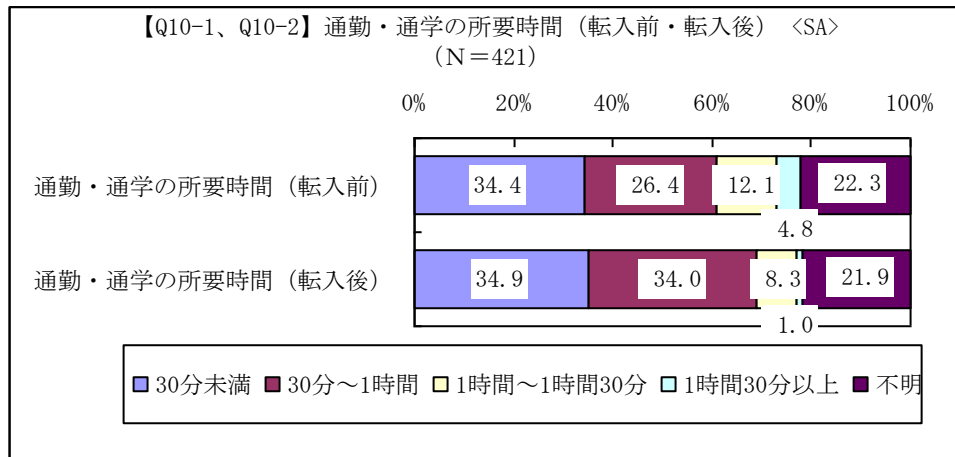
図表 46 通勤・通学先



(10) 通勤・通学の所要時間

通勤・通学の所要時間については、転入前は「30分未満」が34.4%と最も多く、「30分～1時間未満」が26.4%と続いている。転入後は「30分未満」が34.9%と最も多く、「30分～1時間未満」の34.0%が続いている。

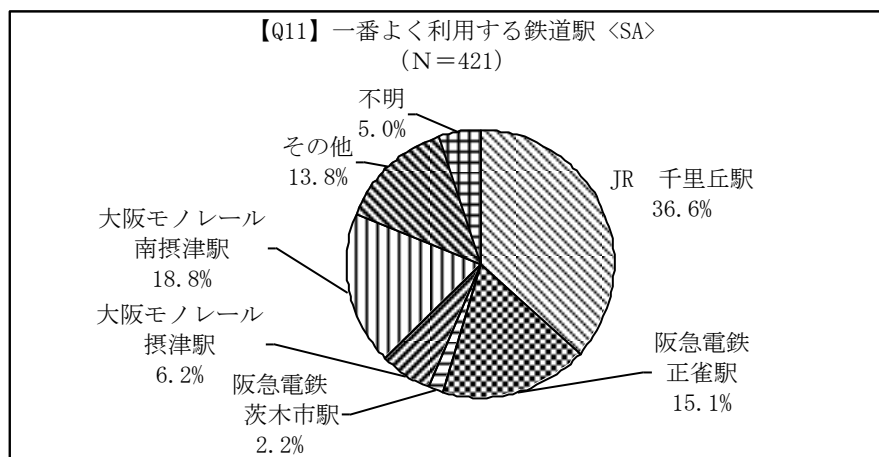
図表 47 通勤・通学の所要時間



(11) 日常的によく利用する鉄道駅

日常的によく利用する鉄道駅としては、「JR千里丘駅」が36.6%と最も多く、「大阪モノレール南摂津駅」が18.8%と続いている。

図表 48 一番よく利用する鉄道駅

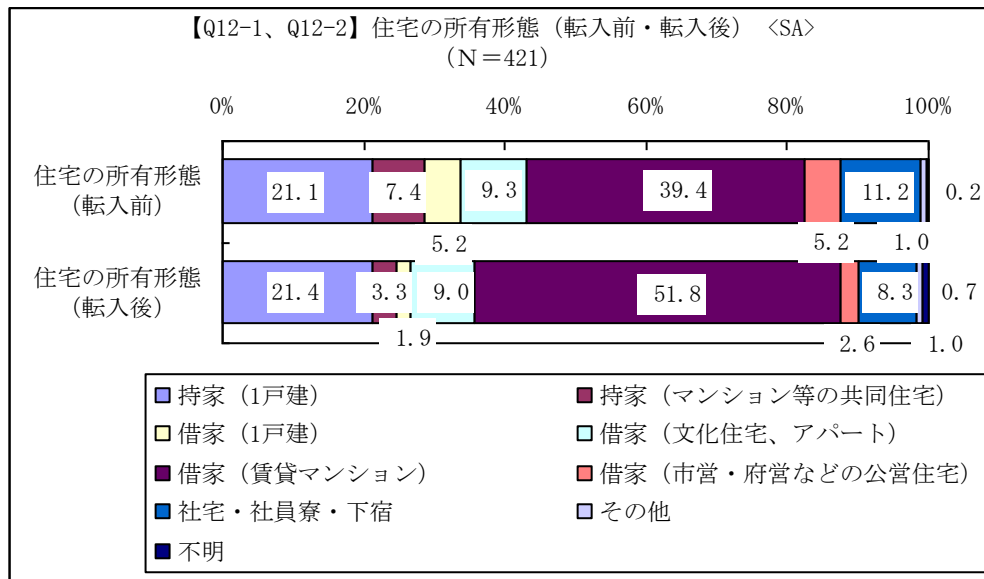


2. お住まいの住宅について

(1) 住宅の所有形態

転入前後での住宅の所有形態をみると、持家から借家へ変わった回答者が多い。「借家（賃貸マンション）」が転入前の39.4%から転入後には51.8%へと増加している。一方、「持家（マンション等の共同住宅）」が転入前の7.4%から転入後には3.3%へと減少している。

図表 49 住宅の所有形態

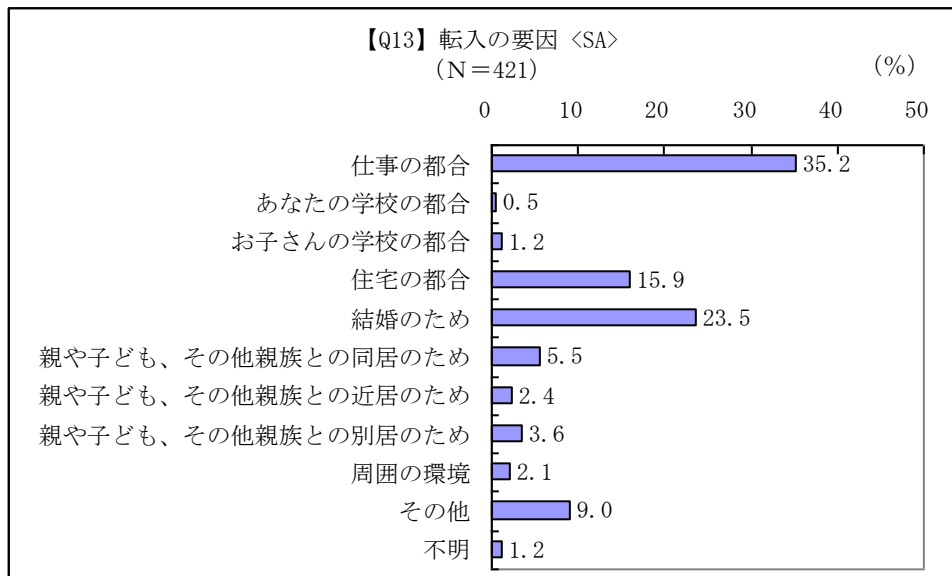


3. 転入の理由について

(1) 転入の要因

転入の要因としては、「仕事の都合」が35.2%と最も多く、「結婚のため」が23.5%と続いている。

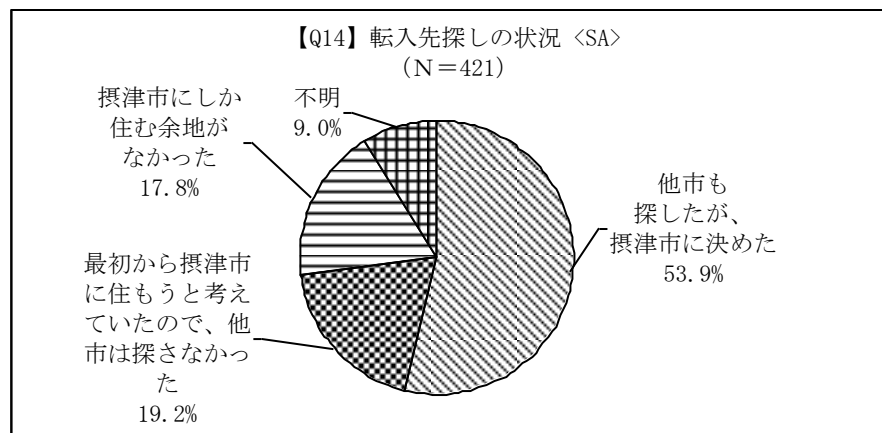
図表 50 転入の要因



(2) 転入にあたっての住まい探しの状況

転入にあたっての住まい探しの状況については、「他市も探したが、摂津市に決めた」が53.9%と最も多く、「最初から摂津市に住もうと考えていたので、他市は探さなかった」が19.2%と続いている。

図表 51 転入にあたっての住まい探しの状況



転入にあたっての住まい探しの状況について、転入の要因別にみると、「住宅の都合」や「結婚のため」の場合は、「他市も探したが、摂津市に決めた」の割合がやや高い。

図表 52 転入にあたっての住まい探しの状況（転入の要因別）

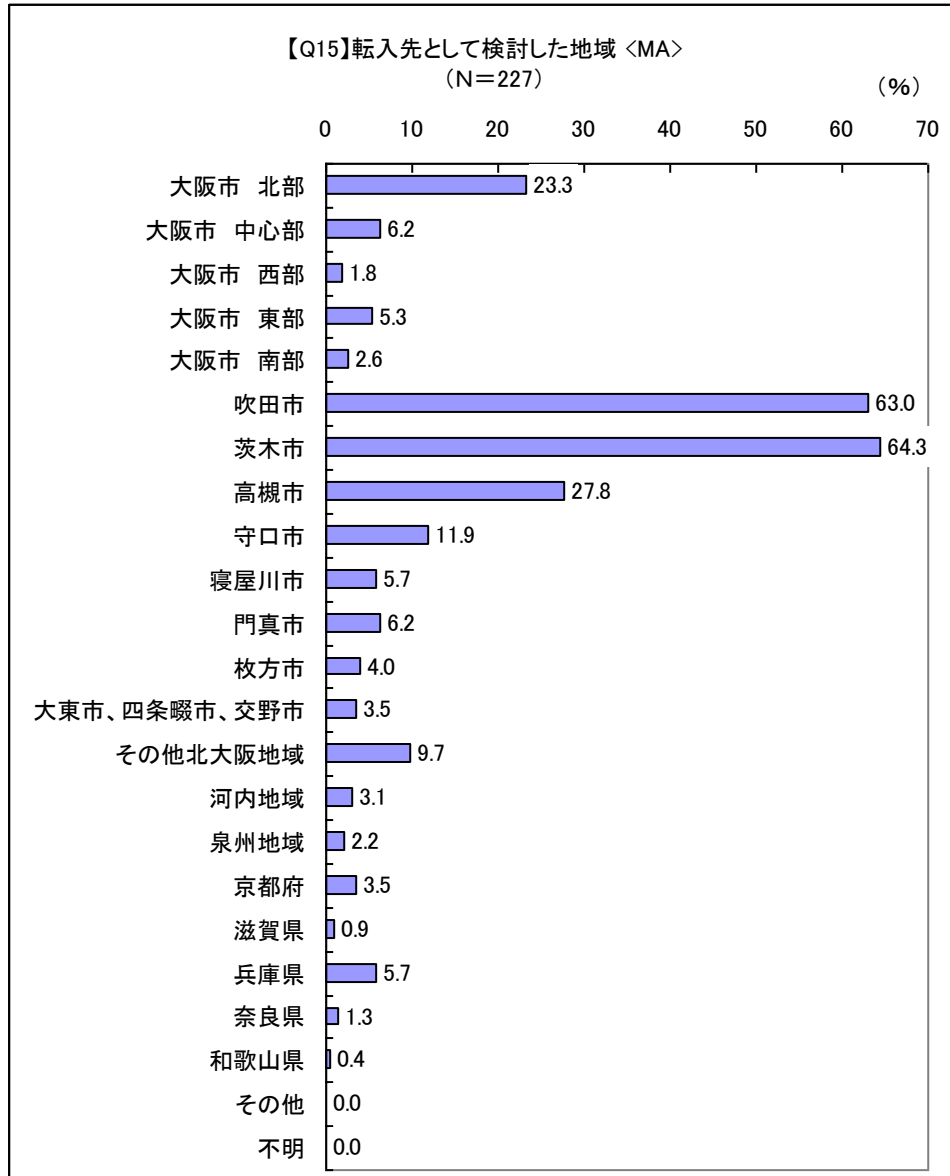
転入にあたっての 住まい探しの 状況	合計	他市も探 したが、 摂津市に 決めた	最初から 摂津市に 住もうと 考えてい たので、 他市は探 さなかつ た	摂津市に しか住む 余地がな かった	不明
転入の要因 全体	421 100.0	227 53.9	81 19.2	75 17.8	38 9.0
仕事の都合	148 100.0	76 51.4	22 14.9	38 25.7	12 8.1
あなたの学校の都合	2 100.0	2 100.0			
お子さんの学校の都合	5 100.0	1 20.0	4 80.0		
住宅の都合	67 100.0	45 67.2	11 16.4	7 10.4	4 6.0
結婚のため	99 100.0	68 68.7	18 18.2	5 5.1	8 8.1
親や子ども、その他 親族との同居のため	23 100.0	6 26.1	5 21.7	9 39.1	3 13.0
親や子ども、その他 親族との近居のため	10 100.0		8 80.0	2 20.0	
親や子ども、その他 親族との別居のため	15 100.0	7 46.7	2 13.3	2 13.3	4 26.7
周囲の環境	9 100.0	6 66.7	2 22.2	1 11.1	
その他	38 100.0	13 34.2	9 23.7	10 26.3	6 15.8
不明	5 100.0	3 60.0		1 20.0	1 20.0

（各項目の1行目は件数、2行目は%）

(3) 転入先として検討した地域

転入先として検討した地域としては、「茨木市」が64.3%と最も多く、「吹田市」の63.0%が続いている。

図表 53 転入先として検討した地域（あてはまる地域を全て選択）

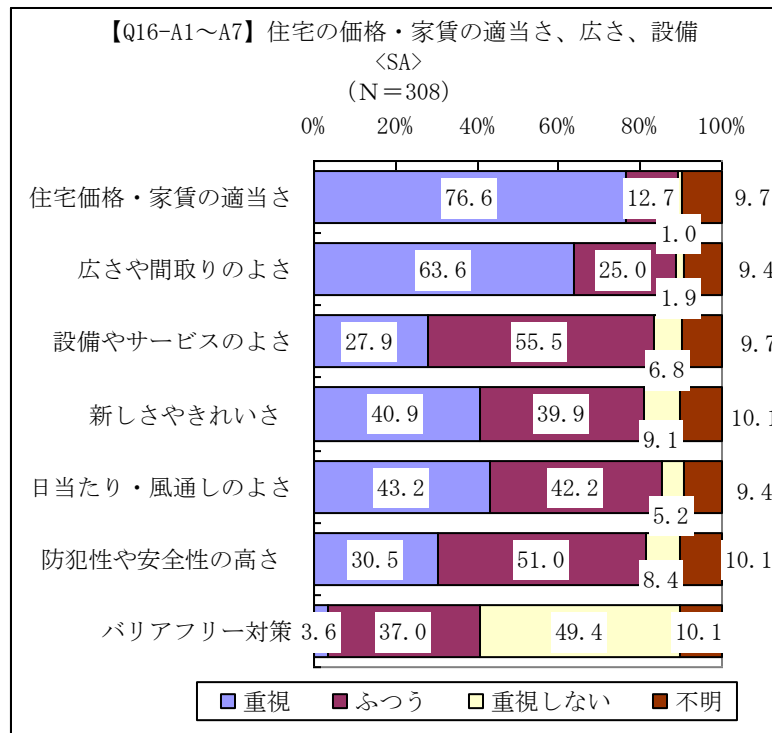


(4) 転入先の決定にあたって重視した要因

① 住宅の価格・家賃の適当さ、広さ、設備

住宅の価格・家賃の適当さ、広さ、設備などに関しては、「住宅価格・家賃の適当さ」を重視する割合が76.6%と最も多く、「広さや間取りのよさ」が63.6%と続いている。

図表 54 住宅の価格・家賃の適当さ、広さ、設備



性別にみると、女性は「日当たり・風通しのよさ」「防犯性や安全性の高さ」を重視している。年齢別にみると、30歳代は「住宅価格・家賃の適正さ」「広さや間取りのよさ」を重視している。就学前の子どもがいる方は、「広さや間取りのよさ」「新しさやきれいさ」を重視している。

転入要因が「住宅の都合」の方は、「広さや間取りのよさ」「日当たり・風通しのよさ」を重視している。

図表 55 住宅の価格・家賃の適当さ、広さ、設備（属性別）

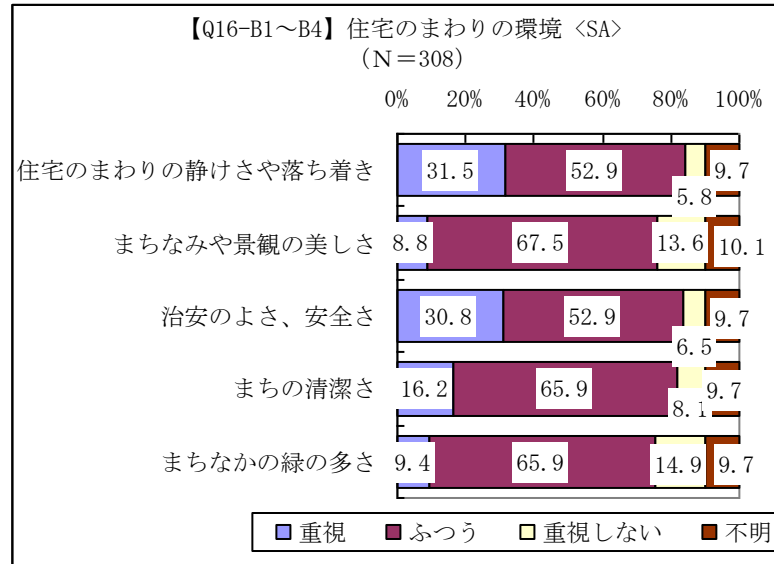
「N=30」以上の選択肢		A1	A2	A3	A4	A5	A6	A7
		住宅価格・家賃の適正さ	広さや間取りのよさ	設備やサービスのよさ	新しさやきれいさ	日当たり・風通しのよさ	防犯性や安全性の高さ	バリアフリー対策
全体		76.6%	63.6%	27.9%	40.9%	43.2%	30.5%	3.6%
性別	男性(N=245)							
	女性(N=63)					49.2%	46.0%	
年齢	20歳代(N=82)							
	30歳代(N=127)	82.7%	70.1%					
	40歳代(N=53)							
職業	会社員・公務員(N=239)							
子ども	就学前(N=65)		75.4%		46.2%			
家族構成(転入前)	一人世帯(N=117)			35.9%				
	夫婦のみ(N=48)							
	夫婦と子ども(N=85)		70.6%		47.1%	50.6%		
	その他(N=31)							
家族構成(転入後)	一人世帯(N=97)							
	夫婦のみ(N=103)			33.0%		52.4%	37.9%	
	夫婦と子ども(N=80)	82.5%	75.0%		47.5%			
居住地(転入前)	大阪市(N=56)							
	吹田市(N=32)			34.4%		53.1%		
	茨木市(N=38)	81.6%	76.3%	39.5%			39.5%	
	その他(N=53)		69.8%					
居住地(転入後)	第一中学校区(N=74)	82.4%		33.8%				
	第二中学校区(N=59)							
	第三中学校区(N=96)					50.0%		
	第四中学校区(N=56)		69.6%		46.4%	50.0%		
所有形態(転入前)	持家(1戸建)(N=71)							
	借家(賃貸マンション)(N=132)		72.7%					
所有形態(転入後)	持家(1戸建)(N=60)					48.3%	36.7%	
	借家(賃貸マンション等)(N=185)							
転入要因	仕事の都合(N=98)				45.9%			
	住宅の都合(N=56)		69.6%			50.0%		10.7%
	結婚のため(N=86)	84.9%	70.9%	33.7%		48.8%		
家探しの状況	他市も探した(N=227)							
	最初から摂津市に決めていた(N=81)					50.6%		
転入先検討地域	大阪市北部(N=53)	83.0%	73.6%		47.2%			
	吹田市(N=143)							
	茨木市(N=146)							
	高槻市(N=63)	82.5%			49.2%		36.5%	

(注)「N=30」以上の選択肢で、全体(平均)よりも「5ポイント以上」重視している属性について、その回答割合を示している。

② 住宅のまわりの環境

住宅のまわりの環境に関しては、「住宅のまわりの静けさや落ち着き」を重視する割合が31.5%と最も多く、「治安のよさ、安全さ」が30.8%と続いている。

図表 56 住宅のまわりの環境



性別にみると、女性は「治安のよさ、安全さ」を重視している。年齢別にみると、20歳代は「治安のよさ、安全さ」を、40歳代は「住宅のまわりの静けさや落ち着き」を重視している。就学前の子どもがいる方は、「住宅のまわりの静けさや落ち着き」「まちなかの緑の多さ」を重視している。

大阪市から転入してきた方は「まちなみの景観や美しさ」「治安のよさ、安全さ」「まちなかの緑の多さ」を重視している。

転入要因が「結婚のため」の方は、「治安のよさ、安全さ」を重視している。

図表 57 住宅のまわりの環境（属性別）

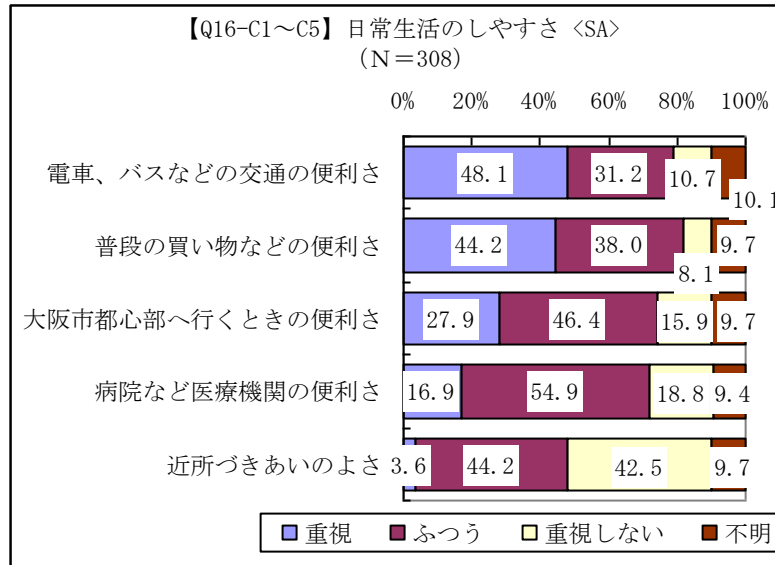
「N=30」以上の選択肢		B1	B2	B3	B4	B5
		住宅のまわりの静けさや落ち着き	まちなみの景観や美しさ	治安のよさ、安全さ	まちなかの緑の多さ	まちなかの緑の多さ
全体		31.5%	8.8%	30.8%	16.2%	9.4%
性別	男性(N=245)					
	女性(N=63)			39.7%		
年齢	20歳代(N=82)			36.6%		
	30歳代(N=127)					
	40歳代(N=53)	39.6%				
職業	会社員・公務員(N=239)					
子ども	就学前(N=65)	41.5%				16.9%
家族構成 (転入前)	一人世帯(N=117)					
	夫婦のみ(N=48)					
	夫婦と子ども(N=85)	36.5%				
	その他(N=31)					
家族構成 (転入後)	一人世帯(N=97)					
	夫婦のみ(N=103)			35.9%		
	夫婦と子ども(N=80)	37.5%			21.3%	16.3%
居住地 (転入前)	大阪市(N=56)		16.1%	37.5%	21.4%	19.6%
	吹田市(N=32)	43.8%				
	茨木市(N=38)	42.1%				
	その他(N=53)					
居住地 (転入後)	第一中学校区(N=74)					
	第二中学校区(N=59)					
	第三中学校区(N=96)					
	第四中学校区(N=56)					
所有形態 (転入前)	持家(1戸建)(N=71)					
	借家(賃貸マンション)(N=132)	39.4%		36.4%	21.2%	
所有形態 (転入後)	持家(1戸建)(N=60)	45.0%		38.3%	21.7%	15.0%
	借家(賃貸マンション等)(N=185)					
転入要因	仕事の都合(N=98)					
	住宅の都合(N=56)					
	結婚のため(N=86)			38.4%		
家探しの状況	他市も探した(N=227)					
	最初から摂津市に決めていた(N=81)					
転入先検討地域	大阪市北部(N=53)			39.6%		
	吹田市(N=143)					
	茨木市(N=146)					
	高槻市(N=63)					

(注)「N=30」以上の選択肢で、全体(平均)よりも「5ポイント以上」重視している属性について、その回答割合を示している。

③ 日常生活のしやすさ

日常生活のしやすさに関しては、「電車、バスなどの交通の便利さ」を重視する割合が48.1%と最も多く、「普段の買い物などの便利さ」が44.2%と続いている。

図表 58 日常生活のしやすさ



年齢別にみると、30歳代は「大阪都心部へ行くときの便利さ」を重視している。就学前の子どもがいる方は、「病院など医療機関の便利さ」「近所づきあいのよさ」を重視している。

家探しにおいて、「最初から摂津市に決めていた方」は、「病院など医療機関の便利さ」を重視している。

図表 59 日常生活のしやすさ（属性別）

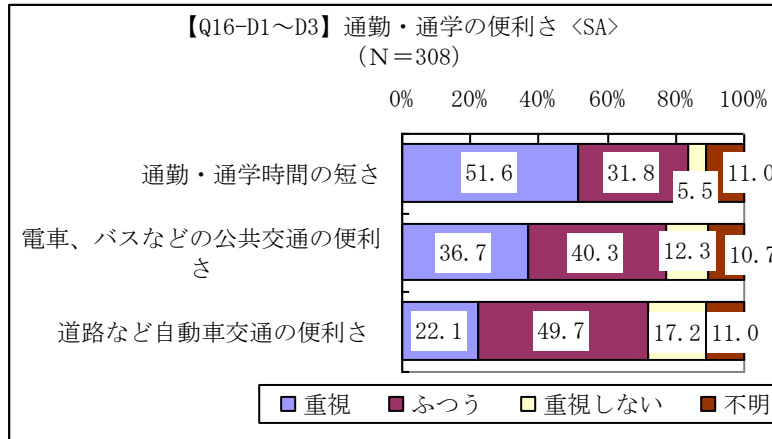
「N=30」以上の選択肢		C1 電車、バスなどの交通の便利さ	C2 普段の買い物などの便利さ	C3 大阪都心部へ行くときの便利さ	C4 病院などの医療機関の便利さ	C5 近所づきあいのよさ
全体		48.1%	44.2%	27.9%	16.9%	3.6%
性別	男性(N=245)					
	女性(N=63)					
年齢	20歳代(N=82)					
	30歳代(N=127)			35.4%		
	40歳代(N=53)					
職業	会社員・公務員(N=239)					
子ども	就学前(N=65)				27.7%	9.2%
家族構成 (転入前)	一人世帯(N=117)	55.6%				
	夫婦のみ(N=48)	54.2%		37.5%		
	夫婦と子ども(N=85)					8.8%
	その他(N=31)					
家族構成 (転入後)	一人世帯(N=97)					
	夫婦のみ(N=103)	64.1%	54.4%	36.9%		
	夫婦と子ども(N=80)					
居住地 (転入前)	大阪市(N=56)					
	吹田市(N=32)		56.3%	34.4%		9.4%
	茨木市(N=38)					
	その他(N=53)	69.8%	62.3%			
居住地 (転入後)	第一中学校区(N=74)	59.5%			24.3%	
	第二中学校区(N=59)					
	第三中学校区(N=96)	67.7%	55.2%	41.7%		
	第四中学校区(N=56)					10.7%
所有形態 (転入前)	持家(1戸建)(N=71)	56.3%	54.9%	33.8%		
	借家(賃貸マンション)(N=132)					
所有形態 (転入後)	持家(1戸建)(N=60)					
	借家(賃貸マンション等)(N=185)	54.1%				
転入要因	仕事の都合(N=98)	58.2%	54.1%			
	住宅の都合(N=56)					
	結婚のため(N=86)	60.5%	52.3%	36.0%	22.1%	
家探しの状況	他市も探した(N=227)					
	最初から摂津市に決めていた(N=81)				22.2%	
転入先検討地域	大阪市北部(N=53)		52.8%	35.8%		
	吹田市(N=143)	56.6%	50.3%	35.0%		
	茨木市(N=146)					
	高槻市(N=63)			34.9%		

(注)「N=30」以上の選択肢で、全体(平均)よりも「5ポイント以上」重視している属性について、その回答割合を示している。

④ 通勤・通学の便利さ

通勤・通学の便利さに関しては、「通勤・通学時間の短さ」を重視する割合が51.6%と最も多く、「電車、バスなどの公共交通の便利さ」が36.7%と続いている。

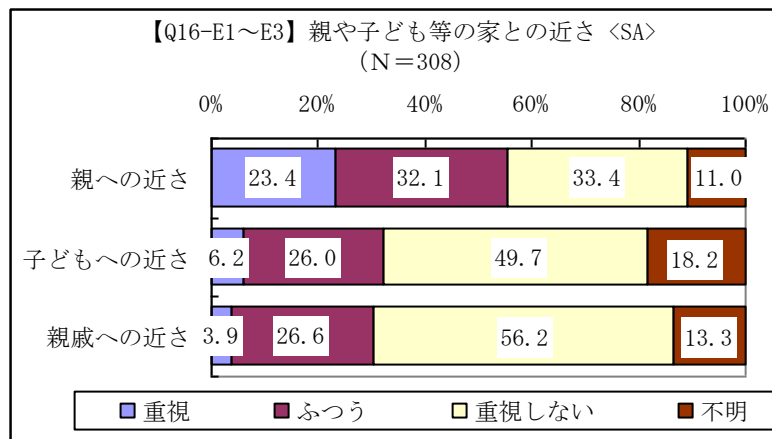
図表 60 通勤・通学の便利さ



⑤ 親や子ども等の家との近さ

親や子ども等の家との近さに関しては、「重視しない」とする割合が高い。「親への近さ」を重視する割合が23.4%と最も多い。

図表 61 親や子ども等の家との近さ



通勤・通学の便利さについて、年齢別にみると、30歳代は、「通勤・通学時間の短さ」「道路など自動車交通の便利さ」を重視している。第一中学校区に転入した方は、「通勤・通学時間の短さ」「電車、バスなどの公共交通の便利さ」を重視している。

親や子ども等の家との近さについて、年齢別にみると、20歳代は「親への近さ」を重視している。また、「就学前の子どもがいる方」、転入の要因が「結婚のため」の方は、「親への近さ」を重視している。

図表 62 通勤・通学の便利さ、親や子ども等の家との近さ（属性別）

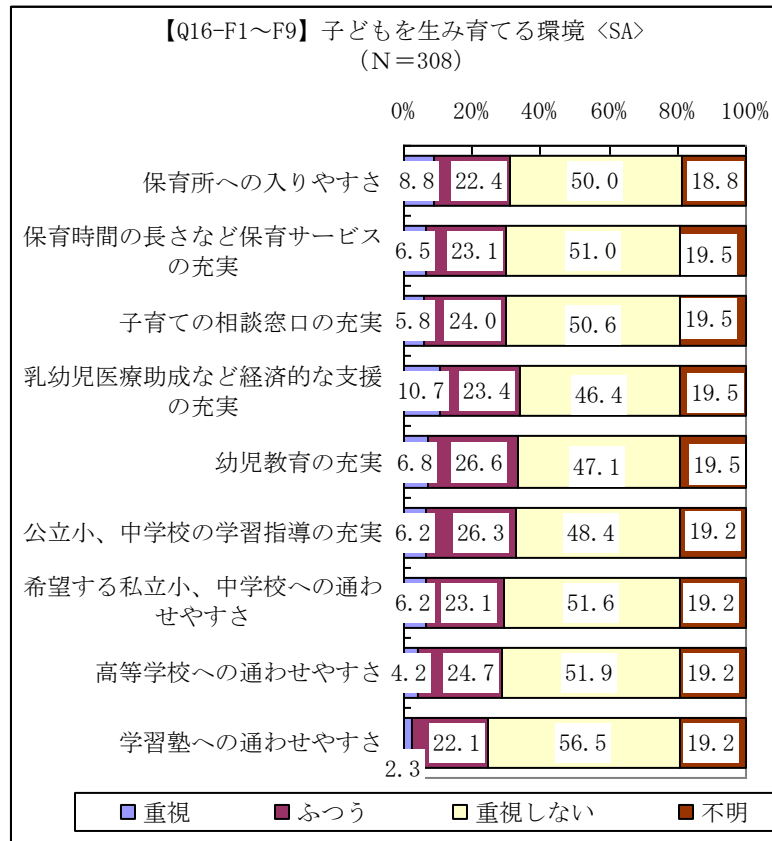
「N=30」以上の選択肢		D1	D2	D3	E1	E2	E3
		通勤・通学時間の短さ	電車、バスなどの公共交通の便利さ	道路など自動車交通の便利さ	親への近さ	子どもへの近さ	親戚への近さ
全体		51.6%	36.7%	22.1%	23.4%	6.2%	3.9%
性別	男性(N=245)						
	女性(N=63)						
年齢	20歳代(N=82)				29.3%		
	30歳代(N=127)	58.3%		27.6%			
	40歳代(N=53)						
職業	会社員・公務員(N=239)	57.3%					
子ども	就学前(N=65)			29.2%	43.1%		
家族構成 (転入前)	一人世帯(N=117)	59.8%					
	夫婦のみ(N=48)						
	夫婦と子ども(N=85)			27.1%			
	その他(N=31)		41.9%				12.9%
家族構成 (転入後)	一人世帯(N=97)						
	夫婦のみ(N=103)	63.1%	49.5%	27.2%			
	夫婦と子ども(N=80)				38.8%		
居住地 (転入前)	大阪市(N=56)				33.9%		
	吹田市(N=32)		43.8%			12.5%	
	茨木市(N=38)						
	その他(N=53)	60.4%	50.9%				
居住地 (転入後)	第一中学校区(N=74)	60.8%	47.3%				
	第二中学校区(N=59)						
	第三中学校区(N=96)		49.0%				
	第四中学校区(N=56)						
所有形態 (転入前)	持家(1戸建)(N=71)	60.6%	43.7%				
	借家(賃貸マンション)(N=132)						
所有形態 (転入後)	持家(1戸建)(N=60)						
	借家(賃貸マンション等)(N=185)	58.9%	43.2%				
転入要因	仕事の都合(N=98)	63.3%	44.9%				
	住宅の都合(N=56)						
	結婚のため(N=86)	62.8%	48.8%	34.9%	36.0%		
家探しの状況	他市も探した(N=227)	57.3%					
	最初から摂津市に決めていた(N=81)				34.6%	19.8%	9.9%
転入先検討地域	大阪市北部(N=53)	60.4%					
	吹田市(N=143)						
	茨木市(N=146)	59.6%					
	高槻市(N=63)	61.9%					

(注)「N=30」以上の選択肢で、全体(平均)よりも「5ポイント以上」重視している属性について、その回答割合を示している。

⑥ 子どもを生き育てる環境

子どもを生き育てる環境に関しては、「重視しない」とする割合が4割～5割となっている。「乳幼児医療助成など経済的な支援の充実」を重視する割合が10.7%と最も多い。

図表 63 子どもを生き育てる環境



就学前の子どもがいる方は、多くの項目を重視している。大阪市から転入した方は、「保育所への入りやすさ」「乳幼児医療費助成など経済的な支援の充実」「幼児教育の充実」「高等学校への通わせやすさ」を重視している。

図表 64 子どもを生き育てる環境（属性別）

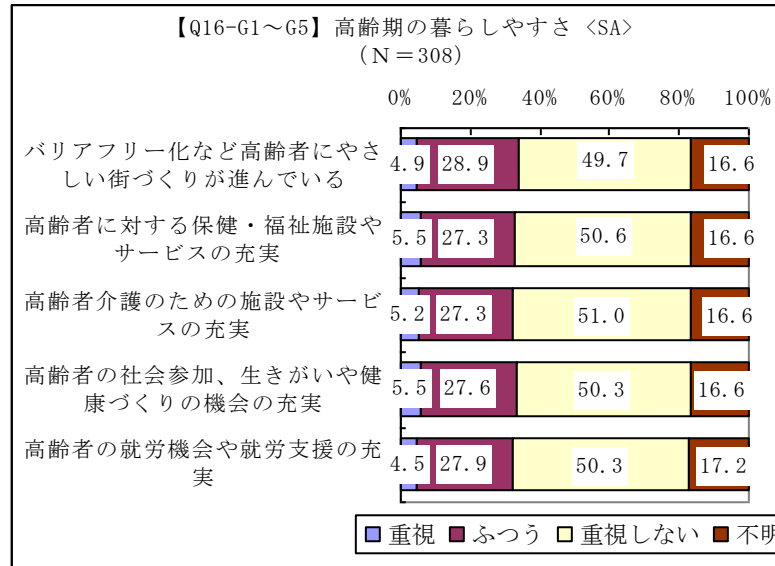
「N=30」以上の選択肢		F1 保育所への入りやすさ	F2 保育時間の長さなど保育サービスの充実	F3 子育ての相談窓口の充実	F4 乳幼児医療費助成など経済的な支援の充実	F5 幼児教育の充実	F6 公立小・中学校の学習指導の充実	F7 希望する私立小・中学校への通わせやすさ	F8 高等学校への通わせやすさ	F9 学習塾への通わせやすさ
全体		8.8%	6.5%	5.8%	10.7%	6.8%	6.2%	6.2%	4.2%	2.3%
性別	男性(N=245)									
	女性(N=63)									
年齢	20歳代(N=82)									
	30歳代(N=127)									
	40歳代(N=53)									
職業	会社員・公務員(N=239)									
子ども	就学前(N=65)	27.7%	20.0%	15.4%	30.8%	18.5%	12.3%	13.8%		
家族構成 (転入前)	一人世帯(N=117)									
	夫婦のみ(N=48)									
	夫婦と子ども(N=85)	15.3%								
	その他(N=31)		12.9%		19.4%	16.1%	16.1%	12.9%	9.7%	
家族構成 (転入後)	一人世帯(N=97)									
	夫婦のみ(N=103)									
	夫婦と子ども(N=80)	17.5%	12.5%	11.3%	23.8%	13.8%		12.5%		
居住地 (転入前)	大阪市(N=56)	17.9%			17.9%	12.5%			10.7%	
	吹田市(N=32)									
	茨木市(N=38)									
	その他(N=53)									
居住地 (転入後)	第一中学校区(N=74)									
	第二中学校区(N=59)									
	第三中学校区(N=96)									
	第四中学校区(N=56)	19.6%	12.5%		17.9%					
所有形態 (転入前)	持家(1戸建)(N=71)									
	借家(賃貸マンション)(N=132)									
所有形態 (転入後)	持家(1戸建)(N=60)	15.0%								
	借家(賃貸マンション等)(N=185)									
転入要因	仕事の都合(N=98)									
	住宅の都合(N=56)									
	結婚のため(N=86)									
	他市も探した(N=227)									
家探しの状況	最初から摂津市に決めていた(N=81)	18.5%			19.8%	13.6%	13.6%	13.6%	9.9%	
	他市も探した(N=227)									
転入先検討地域	大阪市北部(N=53)									
	吹田市(N=143)									
	茨木市(N=146)									
	高槻市(N=63)									

(注)「N=30」以上の選択肢で、全体(平均)よりも「5ポイント以上」重視している属性について、その回答割合を示している。

⑦ 高齢期の暮らしやすさ

高齢期の暮らしやすさに関しては、「重視しない」とする割合が4～5割となっている。

図表 65 高齢期の暮らしやすさ



大阪市から転入した方は、「バリアフリー化など高齢者に優しいまちづくりが進んでいる」「高齢者に対する保健・福祉施設やサービスの充実」「高齢者の社会参加、生きがいや健康づくりの機会の充実」を重視している。

家探しの状況で、「最初から摂津市に決めていた方」は、「バリアフリー化など高齢者に優しいまちづくりが進んでいる」「高齢者に対する保健・福祉施設やサービスの充実」を重視している。

図表 66 高齢期の暮らしやすさ（属性別）

「N=30」以上の選択肢		G1	G2	G3	G4	G5
		バリアフリー化など高齢者に優しいまちづくりが進んでいる	高齢者に対する保健・福祉施設やサービスの充実	高齢介護のための施設やサービスの充実	高齢者の社会参加、生きがいや健康づくりの機会の充実	高齢者の就労機会や就労支援の充実
全体		4.9%	5.5%	5.2%	5.5%	4.5%
性別	男性(N=245)					
	女性(N=63)					
年齢	20歳代(N=82)					
	30歳代(N=127)					
	40歳代(N=53)					
職業	会社員・公務員(N=239)					
子ども	就学前(N=65)					
家族構成 (転入前)	一人世帯(N=117)					
	夫婦のみ(N=48)					
	夫婦と子ども(N=85)					
	その他(N=31)					
家族構成 (転入後)	一人世帯(N=97)					
	夫婦のみ(N=103)					
	夫婦と子ども(N=80)					
居住地 (転入前)	大阪市(N=56)	10.7%	10.7%		10.7%	
	吹田市(N=32)					
	茨木市(N=38)					
	その他(N=53)					
居住地 (転入後)	第一中学校区(N=74)					
	第二中学校区(N=59)					
	第三中学校区(N=96)					
	第四中学校区(N=56)				10.7%	
所有形態 (転入前)	持家(1戸建)(N=71)					
	借家(賃貸マンション)(N=132)					
所有形態 (転入後)	持家(1戸建)(N=60)					
	借家(賃貸マンション等)(N=185)					
転入要因	仕事の都合(N=98)					
	住宅の都合(N=56)					
	結婚のため(N=86)					
家探しの状況	他市も探した(N=227)					
	最初から摂津市に決めていた(N=81)	9.9%	12.3%			
転入先検討地域	大阪市北部(N=53)					
	吹田市(N=143)					
	茨木市(N=146)					
	高槻市(N=63)					

(注)「N=30」以上の選択肢で、全体(平均)よりも「5ポイント以上」重視している属性について、その回答割合を示している。

(5) 転入先の決定にあたって決め手となった要因

転入先の決定にあたって決め手となった要因として、1番目に重視した点としては、「住宅価格・家賃の適当さ」、「広さや間取りのよさ」、「通勤・通学時間の短さ」、「親への近さ」、「電車、バスなどの交通の便利さ」が多くあげられている。

図表 67 転入先の決定にあたって決め手となった要因

(単位：件)

		1番目に重視	2番目に重視	3番目に重視
A) 住宅の価格・家賃の適当さ、広さ、設備	A1 住宅価格・家賃の適当さ	106	45	21
	A2 広さや間取りのよさ	33	40	31
	A3 設備やサービスのよさ	0	2	4
	A4 新しさやきれいさ	2	7	8
	A5 日当たり・風通しのよさ	5	15	19
	A6 防犯性や安全性の高さ	0	2	3
	A7 バリアフリー対策	0	0	0
B) 住宅のまわりの環境	B1 住宅のまわりの静けさや落ち着き	4	8	13
	B2 まちなみの景観や美しさ	0	2	0
	B3 治安のよさ、安全性	1	12	7
	B4 まちの清潔さ	0	0	0
	B5 まちなかの緑の多さ	0	1	1
C) 日常生活のしやすさ	C1 電車、バスなどの交通の便利さ	12	20	22
	C2 普段の買い物などの便利さ	0	11	15
	C3 大阪市都心部へ行くときの便利さ	1	3	6
	C4 病院など医療機関の便利さ	2	4	4
	C5 近所づきあいのよさ	0	2	3
D) 通勤・通学の便利さ	D1 通勤・通学時間の短さ	27	21	15
	D2 電車、バスなどの公共交通の便利さ	3	9	7
	D3 道路など自動車交通の便利さ	0	1	9
E) 親や子ども等の家との近さ	E1 親への近さ	17	4	19
	E2 子どもへの近さ	2	2	1
	E3 親戚への近さ	1	1	1
F) 子どもを生み育てる環境	F1 保育所への入りやすさ	1	3	2
	F2 保育時間の長さなど保育サービスの充実	0	0	0
	F3 子育ての相談窓口の充実	0	0	0
	F4 乳幼児医療費助成など経済的な支援の充実	0	0	0
	F5 幼児教育の充実	0	0	0
	F6 公立小・中学校の学習指導の充実	0	0	0
	F7 希望する私立小・中学校への通わせやすさ	0	1	0
	F8 高等学校への通わせやすさ	0	0	2
	F9 学習塾への通わせやすさ	0	0	0
G) 高齢期の暮らしやすさ	G1 バリアフリー化など高齢者にやさしいまちづくりが進んでいる	0	0	0
	G2 高齢者に対する保健・福祉施設やサービスの充実	0	0	0
	G3 高齢者介護のための施設やサービスの充実	0	0	0
	G4 高齢者の社会参加、生きがいや健康づくりの機会の充実	0	0	0
	G5 高齢者の就労機会や就労支援の充実	0	0	0
H) その他	H その他	3	1	1

(注) 「1番目に重視した点」としてあげられた件数が10件以上の項目に網掛け。

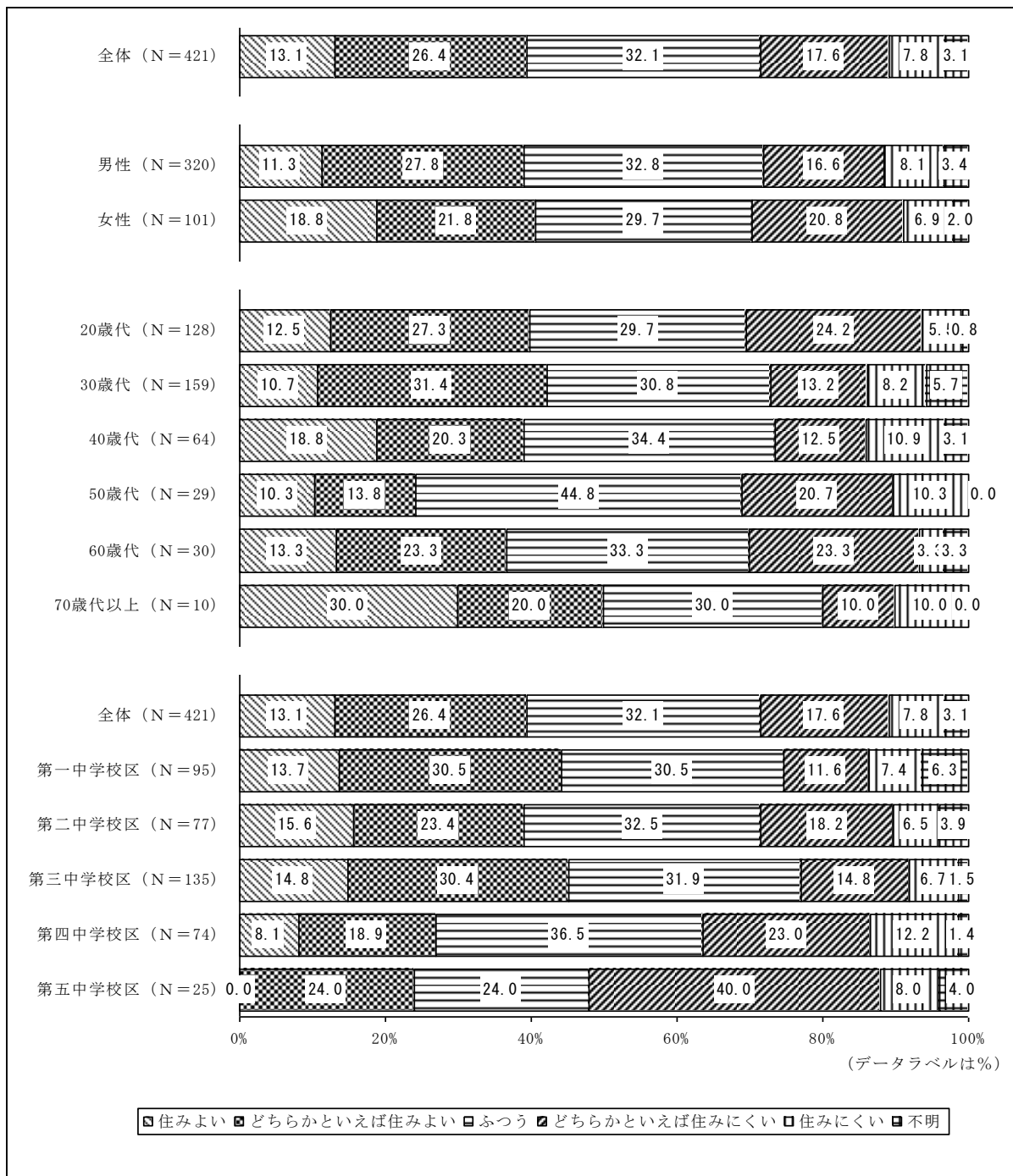
4. 摂津市に住んでみての感想

(1) 摂津市の住みよさ

摂津市の住みよさについては、「ふつう」が32.1%と最も多く、「どちらかといえば住みよい」が26.4%、「どちらかといえば住みにくい」が17.6%と続いている。

年齢別では50歳代で、居住内別では第四中学校区と第五中学校区で、「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」とする割合が低い。

図表 68 摂津市の住みよさ



(2) 摂津市の住みよい点

摂津市に住んでいて住みよいと思う点としては、「通勤・通学の便利さ」が47.5%と最も多く、「買い物などの日常の便利さ」が40.6%、「住宅条件がよい」が23.3%と続いている。


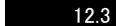
転入後の居住地別でみると、「買い物などの日常の便利さ」を多くあげているのは、第二中学校区、第三中学校区、「通勤・通学の便利さ」を多くあげているのは第一中学校区、第三中学校区、「物価が安い」を多くあげているのは第二中学校区と第四中学校区などとなっている。

年齢別でみると、20歳代と50歳代では、「買い物などの日常の便利さ」、40歳代では「通勤・通学の便利さ」、60歳代では「福祉が充実している」「病院などの保健・医療体制が整っている」「緑や水辺などの自然が多い」が多くあげられている。

図表 69 摂津市の住みよい点（上表：居住地別、下表：年齢別）（3つまで選択）

	全体 (N=421)	第一 中学校区 (N=95)	第二 中学校区 (N=77)	第三 中学校区 (N=135)	第四 中学校区 (N=74)	第五 中学校区 (N=25)	不明 (N=15)
買い物などの日常の便利さ	40.6	26.3	55.8	53.3	37.8	4.0	13.3
通勤・通学の便利さ	47.5	60.0	44.2	53.3	28.4	36.0	46.7
物価が安い	15.0	13.7	20.8	8.1	20.3	24.0	13.3
近所づきあいがよい	7.8	8.4	3.9	3.7	18.9	4.0	13.3
住宅条件がよい	23.3	25.3	24.7	25.2	16.2	20.0	26.7
教育環境・条件が整っている	1.2	3.2	0.0	0.7	0.0	0.0	6.7
福祉が充実している	2.6	2.1	2.6	3.0	2.7	0.0	6.7
病院などの保健・医療体制が整っている	3.8	7.4	5.2	3.0	0.0	4.0	0.0
子育てしやすい	5.2	6.3	5.2	4.4	4.1	8.0	6.7
道路などの都市基盤の整備がよい	4.5	4.2	2.6	4.4	5.4	12.0	0.0
まちが安全で安心して暮らせる	9.5	13.7	6.5	8.9	6.8	12.0	13.3
緑や水辺などの自然が多い	12.6	12.6	9.1	16.3	9.5	12.0	13.3
道路・公園の美化など生活環境がよい	5.5	7.4	1.3	9.6	1.4	4.0	0.0
まちのイメージがよい	1.9	2.1	0.0	3.0	0.0	8.0	0.0
その他	6.4	6.3	3.9	6.7	6.8	12.0	6.7
不明	11.6	9.5	14.3	8.9	18.9	8.0	6.7

	全体 (N=421)	20歳未満 (N=1)	20歳代 (N=128)	30歳代 (N=159)	40歳代 (N=64)	50歳代 (N=29)	60歳代 (N=30)	70歳代以上 (N=10)
買い物などの日常の便利さ	40.6	0.0	47.7	36.5	32.8	58.6	33.3	40.0
通勤・通学の便利さ	47.5	0.0	50.8	49.1	57.8	37.9	30.0	0.0
物価が安い	15.0	0.0	12.5	16.4	14.1	27.6	10.0	10.0
近所づきあいがよい	7.8	0.0	4.7	8.2	9.4	10.3	10.0	20.0
住宅条件がよい	23.3	0.0	21.1	25.8	25.0	20.7	23.3	10.0
教育環境・条件が整っている	1.2	0.0	1.6	1.3	0.0	0.0	3.3	0.0
福祉が充実している	2.6	0.0	0.8	0.0	4.7	3.4	13.3	20.0
病院などの保健・医療体制が整っている	3.8	0.0	1.6	2.5	6.3	0.0	10.0	30.0
子育てしやすい	5.2	0.0	3.1	8.2	6.3	0.0	3.3	0.0
道路などの都市基盤の整備がよい	4.5	0.0	4.7	3.1	6.3	6.9	6.7	0.0
まちが安全で安心して暮らせる	9.5	100.0	8.6	13.2	6.3	0.0	10.0	0.0
緑や水辺などの自然が多い	12.6	0.0	6.3	15.1	12.5	13.8	26.7	10.0
道路・公園の美化など生活環境がよい	5.5	0.0	3.1	6.3	7.8	3.4	6.7	10.0
まちのイメージがよい	1.9	0.0	1.6	2.5	0.0	3.4	3.3	0.0
その他	6.4	0.0	6.3	6.3	6.3	10.3	3.3	10.0
不明	11.6	0.0	10.2	8.8	12.5	20.7	16.7	30.0

(凡例)  12.3 全体よりも5ポイント以上大きな値のセル
 12.3 全体よりも5ポイント以上小さな値のセル

(3) 摂津市の住みにくい点

摂津市に住んでいて住みにくいと思う点としては、「道路などの都市基盤の整備がよくない」が33.7%と最も多く、「買い物など日常生活が不便」が26.4%、「病院などの保健・医療体制が整っていない」が25.7%と続いている。


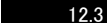
転入後の居住地別でみると、「買い物など日常生活が不便」を多くあげているのは第一中学校区、第四中学校区、第五中学校区、「通勤・通学が不便」を多くあげているのは第四中学校区、第五中学校区、「病院などの保健・医療体制が整っていない」「まちの安全・安心面に不安がある」「道路・公園の美化など生活環境がよくない」を多くあげているのは第四中学校区、「道路などの都市基盤の整備がよくない」を多くあげているのは第三中学校区、「まちのイメージがよくない」を多くあげているのは第二中学校区である。

年齢別にみると、20歳代では、「まちの安全・安心面に不安がある」、60歳代では「近所づきあいがよくない」「福祉が充実していない」「緑や水辺などの自然が少ない」が多くあげられている。

図表 70 摂津市の住みにくい点（上段表：居住地別、下表：年齢別）（3つまで選択）

	全 体 (N=421)	第一 中学校区 (N=95)	第二 中学校区 (N=77)	第三 中学校区 (N=135)	第四 中学校区 (N=74)	第五 中学校区 (N=25)	不明 (N=15)
買い物など日常生活が不便	26.4	31.6	13.0	22.2	33.8	56.0	13.3
通勤・通学が不便	12.8	12.6	10.4	5.9	18.9	40.0	13.3
物価が高い	7.1	11.6	6.5	8.1	4.1	0.0	0.0
近所づきあいがよくない	5.2	7.4	5.2	4.4	4.1	8.0	0.0
住宅条件がよくない	4.3	7.4	2.6	3.7	5.4	0.0	0.0
教育環境・条件が整っていない	6.7	5.3	6.5	9.6	4.1	4.0	6.7
福祉が充実していない	5.7	5.3	6.5	6.7	4.1	0.0	13.3
病院などの保健・医療体制が整っていない	25.7	27.4	28.6	17.8	32.4	28.0	33.3
子育てしにくい	4.3	4.2	7.8	3.0	5.4	0.0	0.0
道路などの都市基盤の整備がよくない	33.7	34.7	23.4	40.0	35.1	24.0	33.3
まちの安全・安心面に不安がある	15.9	11.6	13.0	17.8	23.0	16.0	6.7
緑や水辺などの自然が少ない	12.6	11.6	16.9	14.1	8.1	8.0	13.3
道路・公園の美化など生活環境がよくない	19.0	13.7	15.6	17.8	31.1	12.0	33.3
まちのイメージがよくない	13.3	12.6	20.8	15.6	8.1	4.0	0.0
その他	14.0	13.7	14.3	12.6	16.2	16.0	13.3
不明	10.2	10.5	13.0	11.9	5.4	4.0	13.3

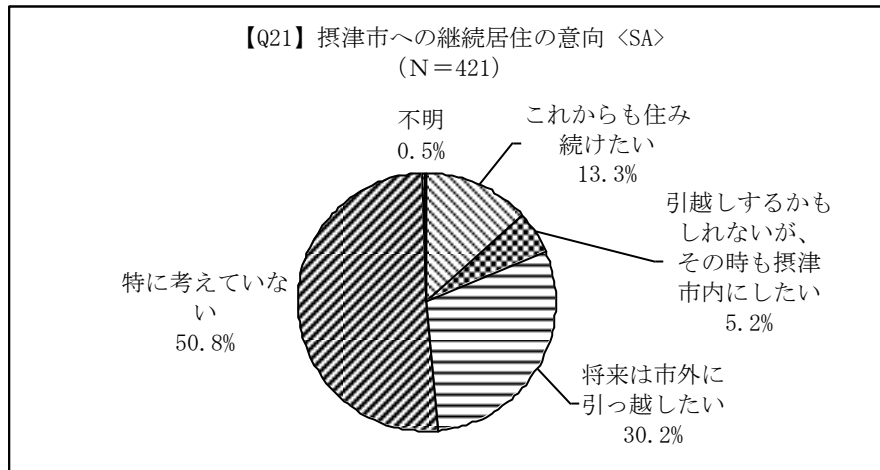
	全 体 (N=421)	20歳未満 (N=1)	20歳代 (N=128)	30歳代 (N=159)	40歳代 (N=64)	50歳代 (N=29)	60歳代 (N=30)	70歳代以上 (N=10)
買い物など日常生活が不便	26.4	100.0	21.9	30.2	28.1	13.8	30.0	30.0
通勤・通学が不便	12.8	0.0	15.6	14.5	9.4	6.9	10.0	0.0
物価が高い	7.1	100.0	6.3	6.3	6.3	13.8	6.7	10.0
近所づきあいがよくない	5.2	0.0	4.7	3.1	1.6	10.3	16.7	20.0
住宅条件がよくない	4.3	0.0	2.3	6.3	3.1	3.4	3.3	10.0
教育環境・条件が整っていない	6.7	0.0	7.8	7.5	4.7	6.9	3.3	0.0
福祉が充実していない	5.7	0.0	6.3	1.9	7.8	13.8	13.3	0.0
病院などの保健・医療体制が整っていない	25.7	0.0	25.8	27.7	26.6	24.1	16.7	20.0
子育てしにくい	4.3	0.0	6.3	5.0	3.1	0.0	0.0	0.0
道路などの都市基盤の整備がよくない	33.7	100.0	33.6	33.3	28.1	54.7	30.0	30.0
まちの安全・安心面に不安がある	15.9	0.0	21.9	15.7	7.8	13.8	13.3	10.0
緑や水辺などの自然が少ない	12.6	0.0	13.3	11.9	14.1	3.4	20.0	10.0
道路・公園の美化など生活環境がよくない	19.0	0.0	18.0	20.8	15.6	24.1	23.3	0.0
まちのイメージがよくない	13.3	0.0	9.4	14.5	17.2	13.8	16.7	10.0
その他	14.0	0.0	19.5	12.6	12.5	13.8	6.7	0.0
不明	10.2	0.0	8.6	8.8	10.9	13.8	10.0	40.0

(凡例)  12.3 全体よりも5ポイント以上大きな値のセル
 12.3 全体よりも5ポイント以上小さな値のセル

(4) 摂津市での継続居住の意向

摂津市での継続居住の意向としては、「特に考えていない」が50.8%と最も多く、「将来は市外に引っ越したい」が30.2%、「これからも住み続けたい」が13.3%と続いている。

図表 71 摂津市への継続居住の意向



IV. 今後の摂津市のまちづくりについての意見

今後の摂津市のまちづくりについて、以下のような意見があった。

A 快適な都市機能

区分	意見概要	件数 (転出)	件数 (転入)	合計
駅前整備・開発(JR駅、阪急駅、 阪急新駅)	駅周辺の整備	2	3	5
	アミューズメント施設が駅前にほしい	0	1	1
	阪急正雀駅周辺の整備	1	4	5
	JR千里丘周辺の整備	3	0	3
	JR千里丘周辺の道路の整備が遅い	11	21	32
	JR千里丘駅西側の再開発	1	1	2
	JR千里丘駅東側の活性化	1	1	2
	モノレール摂津駅周辺を充実させてほしい	0	2	2
	モノレール南摂津駅周辺を充実させてほしい	0	1	1
	阪急新駅(摂津市)の早期設置	0	1	1
	新駅周辺の商業施設を充実させてほしい	0	1	1
	JR千里丘から徒歩圏の阪急電鉄の新規開 発駅がほしい	0	1	1
	近くに駅がほしい	0	1	1
	モノレールとJRとの接続駅がほしい	0	1	1
阪急摂津市駅は不要	0	1	1	
市民サービス拠点の整備(南千里 丘まちづくり、市の施設整備)	スポーツ施設の整備・設備充実	0	1	1
	レジャー施設の整備・設備充実	0	3	3
	子どもの遊び場、公園遊具の整備	2	4	6
	公共施設の充実	0	1	1
	人が集う大きな施設等がほしい	1	0	1
	市営住宅を増やしてほしい	0	2	2
	隣接市との公共施設の格差が大きい	0	1	1
市の魅力づくり(魅力ある都市空間 づくり、吹田操車場跡地)	特徴のあるまちづくり、他市と比較し、全体的に劣っている	7	2	9
	特に魅力がない、特徴がない	2	1	3
	何か特産品をアピールしてほしい、無ければ作ってほしい	1	0	1
	大正川のイベント(こいのぼり、ろうそく)が良い	0	1	1
	若い世代が住みよいまちづくり	1	1	2
	学生や若者が多いことから、彼らに協力してもらい、活気のある街づくり	1	0	1
	新幹線基地の活用(新幹線祭り)	2	1	3
	都市の知名度が低い	3	4	7
	摂津市の顔となる部分が存在しない	0	3	3
	ウリが何なのかわからない	1	0	1
	景観重視のまちづくりを考えた方がよい	1	0	1
	他市を真似るのではなく、緑を損なうことなくまちづくりを進めてほしい	1	0	1
	「下町」的などころは残し、「開発」できるところはする	1	0	1
	環境の良いまちづくりにしてほしい	1	0	1
	子供に配慮した町作りを	1	0	1
	大阪の中の田舎のイメージがある	1	0	1
	人間味のあるまち、ほんわかとしたイメージ	1	0	1
	「摂津市に住んでいて幸福」と誰もが言えるまちづくりを	1	0	1

B 健康な心と体

区分	意見概要	件数 (転出)	件数 (転入)	合計	
高齢者福祉	お年寄りに優しい市になってほしい	0	1	1	
	摂津市立老人福祉センターせつつ桜苑の対応が良い	0	1	1	
	独居老人の申請について	0	1	1	
障害者福祉	障害者に対する福祉の充実	1	0	1	
生活福祉(地域の福祉活動、ボランティア、バリアフリー、母子・父子家庭、生活困窮家庭)	千里丘の駅にエレベーターやエスカレーターがなかった(後にできた)	2	0	2	
	生活保護費の適正支給(基準、調査など)	1	0	1	
	福祉の充実	2	3	5	
	母子家庭支援の充実	0	1	1	
	低所得世帯だけでなく、中堅所得者に対しても目を向けた行政を	1	0	1	
	子育て支援(保育所、学童保育、出産・育児支援、子どもイベント)	妊婦健診の補助金について	0	2	2
	妊婦健診の公費負担5回は非常に良かった。(府外OKというのも良かった)	1	0	1	
子育て支援(保育所、学童保育、出産・育児支援、子どもイベント)	保育の充実、保育所が少ない(増やしてほしい)	0	5	5	
子育て支援(保育所、学童保育、出産・育児支援、子どもイベント)	乳幼児医療助成の充実	3	3	6	
子育て支援(保育所、学童保育、出産・育児支援、子どもイベント)	医療証(子供の)は充実している	1	0	1	
子育て支援(保育所、学童保育、出産・育児支援、子どもイベント)	子育て支援を充実してほしい	3	4	7	
子育て支援(保育所、学童保育、出産・育児支援、子どもイベント)	子育て家庭に対する摂津市のサービスのイメージが良くない	0	1	1	
子育て支援(保育所、学童保育、出産・育児支援、子どもイベント)	子育ての環境を便利にしてほしい(支援センターなど)	1	2	3	
子育て支援(保育所、学童保育、出産・育児支援、子どもイベント)	子どもイベント開催	0	1	1	
子育て支援(保育所、学童保育、出産・育児支援、子どもイベント)	鳥飼地区は子どもを育てるのに、向いていない	1	0	1	
子育て支援(保育所、学童保育、出産・育児支援、子どもイベント)	保育所の開放はとても良い	0	1	1	
子育て支援(保育所、学童保育、出産・育児支援、子どもイベント)	子育ては、摂津が良かった	3	0	3	
健康・医療(保健、予防、健康づくり、乳幼児健診、医療、保険制度)	公的な医療機関(市民病院)の整備	3	2	5	
	夜間救急病院の整備	0	1	1	
	病院(医療機関)を充実させてほしい	8	12	20	
	耳鼻科、眼科がない(増やしてほしい)	1	1	2	
	産婦人科がない(増やしてほしい)	5	10	15	
	小児科がない(増やしてほしい)	3	5	8	
	市民健診を希望者全員受診可能とする(無料)	0	1	1	
	市民健診の内容充実	0	1	1	
	店や病院が多いので、生活面で便利なまち	2	0	2	

C 文化と教育

区分	意見概要	件数 (転出)	件数 (転入)	合計
文化振興(芸術・文化の機会、団体、拠点、歴史文化)	文化のない所という印象	1	0	1
	文化的な程度が低い	1	0	1
学校・幼稚園教育(義務教育、幼稚園教育)	教育水準の向上	7	4	11
	教育等のイメージがあまり良くない	0	1	1
	ランドセル支給の廃止	0	1	1
	狭い地域の割には学校が多すぎる	1	0	1
	小学校統合反対	2	0	2
	教職員の質の向上	0	1	1
	幼稚園にバス送迎	0	1	1
	幼稚園(3年保育)がほしい	0	1	1
	公立幼稚園の制服の改善を	0	1	1
	生涯学習・スポーツ(図書館、公民館、スポーツ、レクリエーション)	市民プールの充実(再開)	1	6
体育館の充実		1	1	2
図書館の整備、利便性向上		0	5	5
青少年の健全育成	警察の方の見回りを強化	0	1	1
	不良が多い	1	0	1

D 産業と消費

区分	意見概要	件数 (転出)	件数 (転入)	合計
産業振興(商・工・農業)(中小企業、小売り・サービス業、農業)	商店街の活性化	1	3	4
	大きな企業が少ない	1	0	1
	工業中心の都市から、商業中心の都市へ変化することが必要	2	0	2
	商店(レンタルビデオ、カフェ、スーパー、コンビニ)を増やしてほしい	5	13	18
	本屋さんがない	1	0	1
	郵便局や銀行窓口を増やしてほしい	0	2	2
	ショッピングセンター的なもの(大型商業施設)がほしい	6	9	15
	産業道路側は病院もスーパーも飲食店も多く、とても住みやすい	1	0	1
勤労者・消費者支援(就労促進、消費生活相談)	子育てしながら働ける場所がほしい	0	1	1

E 快適な都市環境

区分	意見概要	件数 (転出)	件数 (転入)	合計
水辺の整備(河川、水路)	河川の水質の向上	1	3	4
	川岸地域の整備	0	1	1
緑化推進(花と緑、公園・緑地)	緑が少ない(緑を多く)	7	10	17
	公園が少ない(増やしてほしい)	0	12	12
	公園の見回り、整備	1	2	3
	きれいな公園も有り、川沿いを散歩する場所も有り良かった	2	0	2
住環境(交通安全・防犯・防災)(住宅地の環境、交通安全啓発、交差点・交通安全施設、駐車・駐輪、犯罪防止、防災体制、消防・救急)	治安が悪いので防犯対策を充実してほしい	7	2	9
	治安(暴走行為)	0	4	4
	治安(窃盗、車上荒らし、車両盗難)	2	3	5
	治安(痴漢、変質者、不審者)	5	3	8
	街灯が少ない(増やしてほしい)	3	13	16
	信号機の整備	0	1	1
	交通事故の対策	0	4	4
	大型車両(トラック)が多く危険	2	4	6
	迷惑駐車を無くす	2	2	4
	駐輪場、駐車場の整備	1	5	6
	交通規則違反対策	0	5	5
	植木が歩道に侵食しているので注意を促してほしい	0	1	1
	住宅設備の環境	1	0	1
	スーカークの支援措置へのお礼	1	0	1
環境・景観(斎場・墓地、水質、大気汚染、騒音・振動、省エネ、衛生、景観、環境、ゴミ・リサイクル)	不燃ごみ収集日を増やしてほしい	0	9	9
	缶やペットボトルも家の前に出せるようにしてほしい	0	1	1
	ごみの収集のやり方を考えてほしい	1	0	1
	ごみの収集を早くしてほしい	0	1	1
	道路のゴミが多い、汚い	0	5	5
	ガラスが多い	0	2	2
	環境が良くない(公害)	3	0	3
	水質(工場廃水、異臭)	0	6	6
	空気が悪い(汚い)	4	3	7
	騒音・振動がひどい	4	15	19
	不法投棄が多い	1	1	2
	南摂津駅前の美しい景観を維持し続けてほしい	1	0	1
	都市基盤の整備(上下水道、道路、交通網)(道路網、生活道路、公共交通、上下水道、トイレ水洗化)	水道料金が安い(引き下げ)	6	12
水道料金をコンビニ支払いできるようにしてほしい		0	1	1
光熱費が高い(引き下げ)		1	2	3
水道水をおいしく		0	2	2
電線の地中化		0	1	1
道路、遊歩道をきれいに		0	2	2
道路、歩道の整備		14	19	33
歩道(が狭いので)整備してほしい		9	12	21
車道(が狭いので)整備してほしい		2	10	12
道がデコボコなので整備してほしい		1	10	11
一方通行が多い		0	4	4
橋を増やしてほしい		0	1	1
JRの線路を越えるガードの整備		3	2	5
地下鉄・JRの延伸		1	1	2
交通の便をよくしてほしい		23	17	40
バスの増便・利便性向上		7	11	18
交通網の整備		1	4	5
仁和寺大橋、百円橋を無料にすべき		1	1	2
モノレールの運賃を値下げしてほしい		6	6	12
交通渋滞の緩和をしてほしい		11	17	28
公共施設巡回バスは良い	0	2	2	
交通の便は良く、休日も出かけやすい(大阪、京都、茨木、万博公園等)立地で住みやすかった	1	0	1	

F 自立と協働

区分	意見概要	件数 (転出)	件数 (転入)	合計
市民主体のまちづくり(コミュニティ)	市民のマナー向上(ポイ捨て、犬の糞)	2	8	10
	コミュニティの育成	1	1	2
	行政はできるかぎり地域住民に任せる	0	1	1
	「街をきれいにする運動」等行政が進んでやるべき	0	1	1
	ガラが悪い	2	0	2
	野良猫対策(餌やり禁止等)	0	2	2
	公共の施設を管理してくれている市民の方へのお礼	0	1	1
	自治会活動が非常にわかりやすく良い	1	0	1
	子どもたちの見守り隊の方へのお礼	0	1	1
行政情報の公開・提供(市政情報提供、住民ニーズ把握、市政参加)	市民の声を聞いてほしい	1	1	2
	広報紙の全戸配布	0	1	1
	将来見込みを広報紙に掲載していただきたい	0	1	1
	市の広報に公民館の住所を載せてほしい	0	1	1
	転入者向けリーフレット	0	1	1
	市の情報誌を発行してほしい	1	0	1
	摂津市暮らしのハンドブックをもう少し詳細に	0	1	1
行財政運営(行政サービス、職員のあり方、財政、市税)	無駄なものに投資せず、必要なものだけに	1	3	4
	納税者の満足や了解も必要	1	0	1
	将来性のある計画的なまちづくり	1	0	1
	合併・広域連携すべき	2	0	2
	職員が多い。給与が高い	2	0	2
	議員が多い	0	1	1
	財政の均衡を。赤字の解消を。各施策のコストが高い	7	0	7
	家賃補助制度を充実させてほしい	0	1	1
	市民税の引き下げ	4	6	10
	保険料の引き下げ	1	0	1
	市の窓口の対応が悪い。開庁時間が短い	2	2	4
	財政難に負けず、これからも頑張ってもらいたい	1	1	2
	市営住宅の整備	0	2	2
	摂津市役所内に税務署を作ってもらいたい	0	1	1
	特別職(非常勤)の選任に問題がある	0	1	1
	職員は危機意識を持って市民のため、市民の立場に立って行政をすべき	0	1	1
	役所の方々の対応が良い	2	1	3
	選挙の期日前投票の期間に土日を2回含めてほしい	0	1	1
	選挙の立会人が多いのでは	0	1	1

G アンケートについて

区分	意見概要	件数 (転出)	件数 (転入)	合計
アンケートについて	まちづくりに熱心に取り組まれているんだなと感じた	1	0	1
	企画の良さは認めるが、転宅の動機などはわかって、摂津市との比較などは全然意に介しておられない	1	0	1
	無記名にするのであれば転居前、転居後の地名を記入するのはおかしい	0	1	1

摂津市の人口移動に関するアンケート調査

平成 21 年（2009 年）6 月発行

編集・発行 / 摂津市 市長公室 政策推進課
〒566-8555 大阪府摂津市三島 1 丁目 1 番 1 号
電 話 06-6383-1111（大代表）
072-638-0007（代表）
F A X 06-6319-1924
Eメールアドレス seisaku@city.settsu.osaka.jp